

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	景観形成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設経済部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 -1-(1)	
事業内容	地域性にあった景観づくりの実現に向けて、景観法に基づく景観計画のもとでの方針を明らかにし、読谷村の地域特性を活かした魅力ある優れた景観形成のための事業を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,814	5,397			
		(b)予算現額	2,814	5,397			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		2,814	5,397			
	B.執行済額		2,814	5,040			
	うち交付金充当額		2,251	4,032			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	93.4%			
予算の状況の説明		交付決定を受け、速やかに事業を執行した。 354は入札による執行残。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	意見交換会及びヒアリング	目標	(8回)	()	()	()	
		実績	7回				
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	景観地区指定を検討している地域において、住民説明会を開催した。対象地区は2地区あり、座喜味城跡周辺地区で4回、ヤチムンの里地区で3回の住民説明会を行った。 また、当初は今年度の目標として8回としていたが、ヤチムンの里地区では地域住民が少なく、座喜味城跡周辺地区に比べ合意形成がスムーズに進むことが想定されたため、事業実施の段階で説明会の開催を3回に設定していた。そのため、活動実績が活動目標を下回ってはいるが、事業は計画通りに実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	都市計画決定図書の作成(ヤチムンの里地区)	目標	()	都市計画決定図書の作成	()	()	()
		実績		都市計画決定図書の作成			
	住民意見の集約(座喜味城跡周辺地区)	目標	()	住民意見の集約	()	()	()
実績			住民意見の集約				
進捗状況説明	景観地区指定を行うためには対象地区の地域住民の方々の理解及び合意形成が必要である。そのため、平成24年度と平成25年度において住民説明会を行ってきた。 ヤチムンの里地区については、地域住民の意見をまとめ、都市計画決定図書(案)を作成し、平成26年度の景観地区指定を目指している。 座喜味城跡周辺地区においては、区域が広く対象となる地域住民が多いため、今年度まで説明会の開催に努めた。平成26年度に都市計画決定図書(案)を作成し、平成27年度中の景観地区指定を目指して取り組んでいる。						

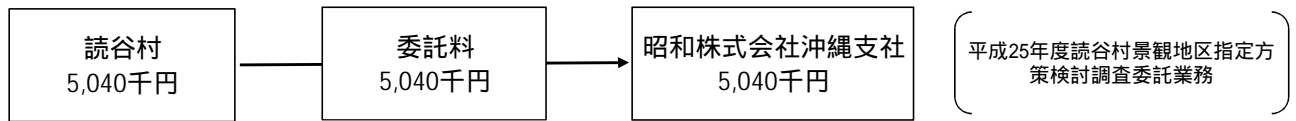
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	平成24年度と平成25年度に景観地区を検討している地域の住民の方々と意見交換を行っており、継続して参加していただいた住民の方々の理解は進んできていると感じている。しかし、まだまだ景観地区への周知や理解が不十分な点がある。	今後とも、繰り返し住民説明会を開催し、住民の方々と意見交換を重ねていく必要がある。

今後の取り組み方針

ヤチムンの里地区においては、平成26年度に景観地区の都市計画決定に向けた法定手続きを行う。法定手続きの中で引き続き住民の方々との意見交換を重ねていき、景観地区指定を目指す。
 座喜味城跡周辺地区においては、平成26年度には引き続き住民の方々との意見交換を重ねながら、都市計画決定図書(案)を作成する。平成27年度中の都市計画決定を目指して取り組んでいく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,040	5,040	4,032	1,008	



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	受託事業者は指名競争入札により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。予算規模についても、複数業者に見積もりを依頼し定めたものであり、適正な規模となっている。費目・用途についても、景観地区指定に向けた取り組み等のみ限定されている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

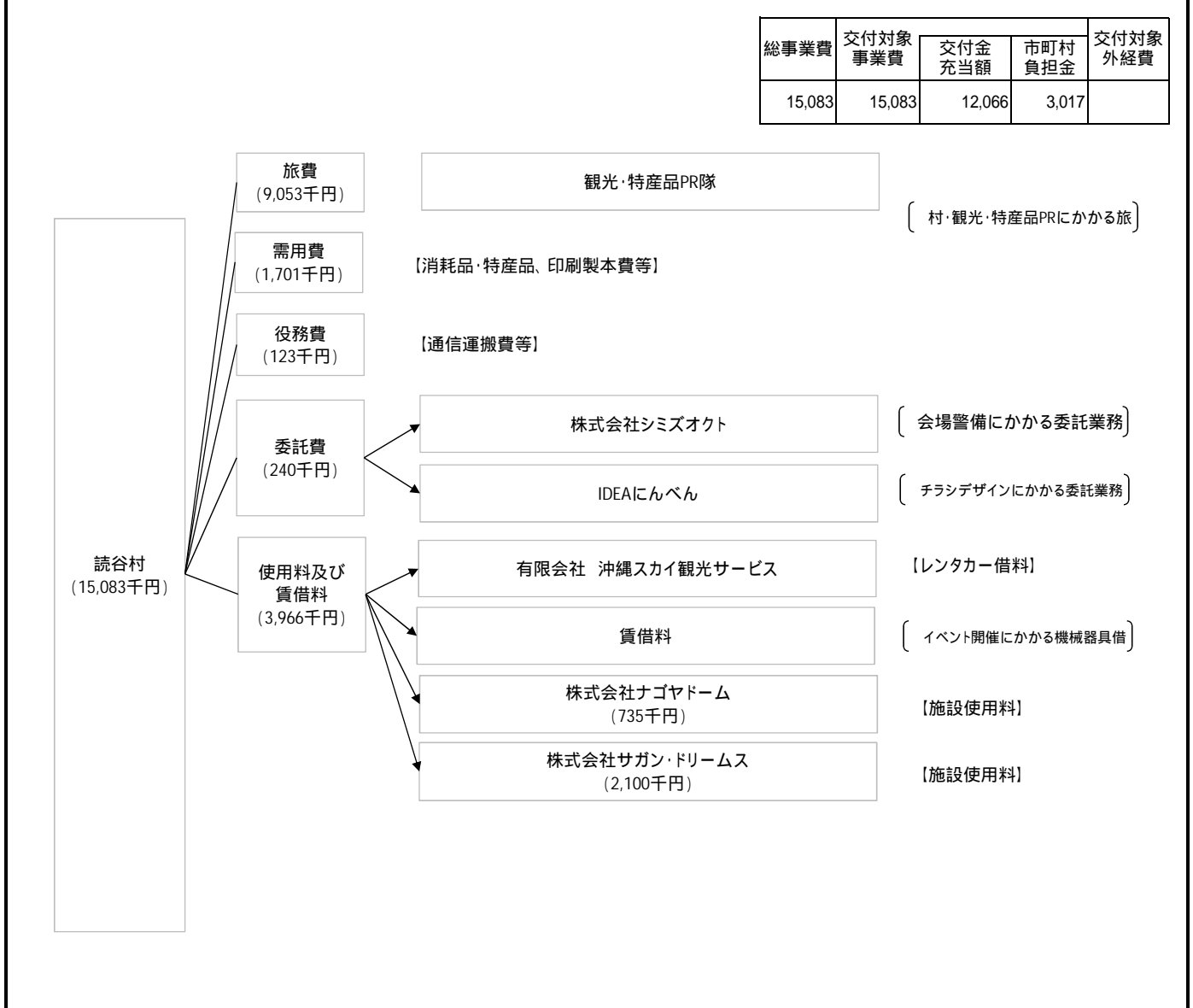
市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- スポーツコンベンション誘致促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ		
	担当部課名	建設経済部 商工観光課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 -1-(1)
事業内容	スポーツコンベンションの誘致及び観光客の誘客や物産販売の促進のため、本村でキャンプをしているプロスポーツ団体の本拠地において、キャンプ受入体制のアピールと観光や特産物をPRするイベントを実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	16,323	21,648			
		(b)予算現額	15,971	21,648			
		(c)増減額(b-a)	352	0			
		(d)繰越額	-	0			
	A.計(b+d)		15,971	21,648			
	B.執行済額		15,926	15,083			
	うち交付金充当額		12,740	12,066			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		99.7%	69.7%			
予算の状況の説明		当初予算は概算金額で計画を行った結果、予定していた金額よりも低く抑えることができた。計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光PRチラシ作成	目標	(観光PRチラシ配布1,000枚)	観光PRチラシ配布3,000枚	()	()	
		実績	観光PRチラシ配布1,000枚	観光PRチラシ配布3,000枚			
	誘致PRイベントにてPR演舞等	目標	-	誘致PRイベントにてPR演舞11回	()	()	
		実績	-	誘致PRイベントにてPR演舞11回			
	集客イベントの開催	目標	-	集客イベントの開催1日	()	()	
		実績	-	集客イベントの開催1日			
	達成状況説明	プロ野球中日ドラゴンズ誘致については、ナゴヤドームで開催される8月24日(土)の阪神タイガース戦において読谷村の各種PR活動を行なった。 J1サガン鳥栖誘致については2013シーズン第27節 サガン鳥栖vsサンフレッチェ広島戦において「でーじ大好き サガン鳥栖! 2」として読谷村の各種PR活動を行なった。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		24年度	25年度	26年度	27年度
・誘致PRイベントにてPR演舞の観覧者		目標	(-)	PR演舞観覧者40,000人	()	()	()
		実績	-	PR演舞観覧者45,000超			
・観光PRチラシ配布		目標	観光PRチラシ配布1,000枚	観光PRチラシ配布3,000枚	()	()	()
		実績	観光PRチラシ配布1,000枚	観光PRチラシ配布3,000枚			
・集客イベントの来場者数		目標	(-)	集客イベント来場者数2,000人	()	()	()
		実績	-	集客イベント来場者数2,400人			
進捗状況説明		当事業の効果もあり、中日ドラゴンズ・サガン鳥栖、両チームのキャンプ継続誘致に繋がった。					

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>伝統芸能の披露、観光PR映像の上映、読谷村PRブースの設置、観光PRチラシ等の配布、読谷村のPR及び村特産品紹介のため実施することにより、平成25年度の各種スポーツキャンプの継続誘致に繋がった。</p> <p>継続し、誘致活動を行う計画であるが、キャンプ実施の確約とはならないため、各スポーツチームとの密な連絡体制構築が課題。</p>	<p>沖縄県におけるプロサッカーチームのキャンプ誘致については練習試合等のマッチメイクの影響等もあるため、継続誘致については、キャンプ誘致市町村との連携が必要である。</p> <p>プロスポーツキャンプを活性化させるため、グラウンド内の土や芝生等を良好に保つための継続的な施設維持管理等を進めていく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

当事業は、継続事業となっており、今後もキャンプの継続誘致のため、球場やスタジアムなどで伝統芸能披露、観光PR映像の上映、読谷村PRブースの設置、観光PRチラシ等の配布等を行うとともに、県及び関係市町村と連携し、キャンプ地としての魅力を伝え、各種スポーツチームに対する誘致活動事業を実施する。また、関連事業において、プロスポーツで利用する施設の適切な維持管理を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

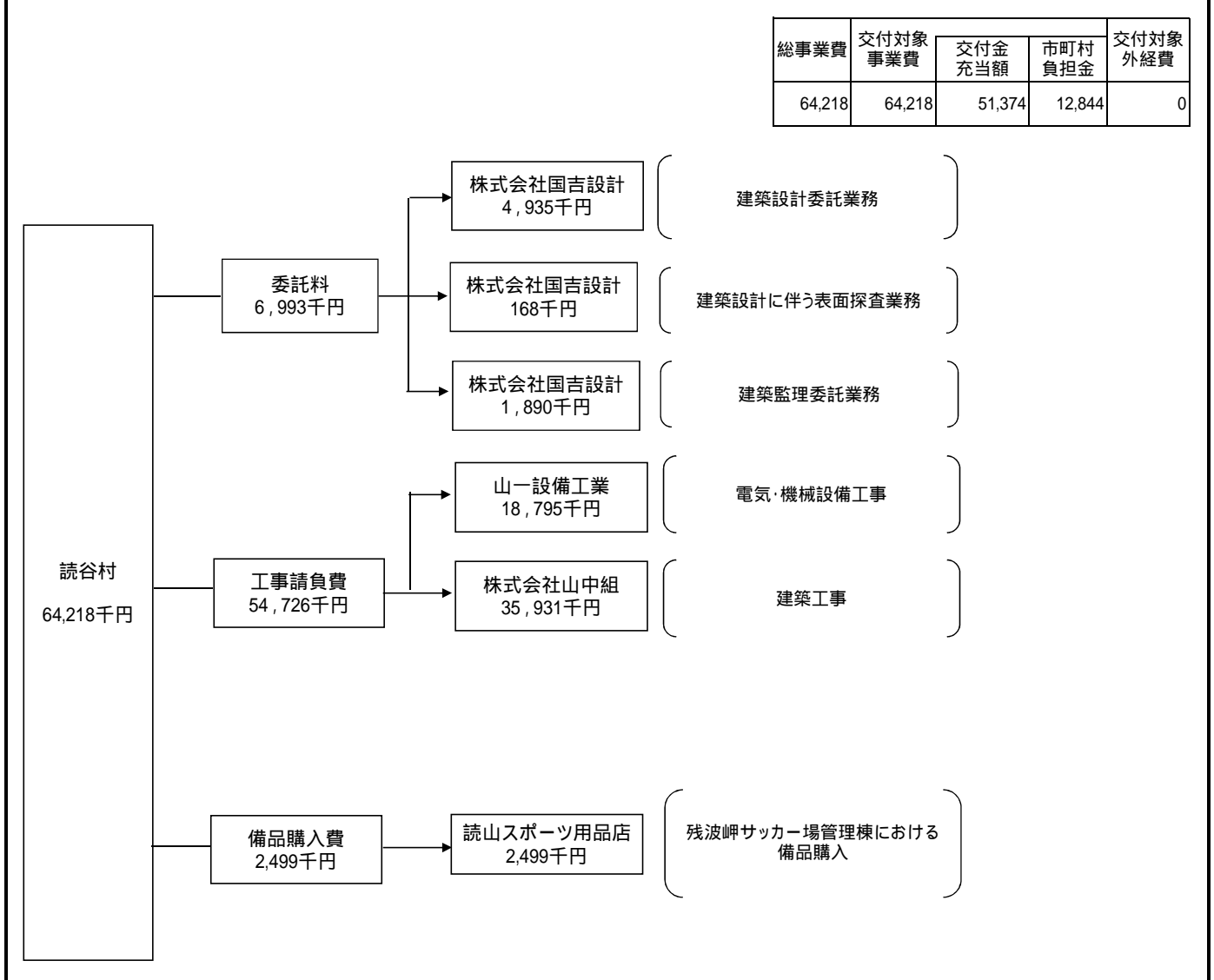


資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は、企業組織及び実績、知識等を勘案した上で選定しているため妥当であり、予算規模、費目・用途についても適正であったと考える。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- 残波岬サッカー場管理棟整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
	担当部課名	教育委員会 生涯学習課		事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 -1-(1)
事業内容	平成24年度に当交付金で整備した残波岬サッカー場に管理棟を建設し、利用者のための利便性の向上と管理機能の強化を行う。当施設は、サッカー場利用者用の会議室・トイレやサッカー場で使用する用具・芝管理用機械の格納庫等で構成される。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況	25年度		26年度	27年度	28年度	29年度
		(a)当初予算額	65,196				
		(b)予算現額	65,196				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)		65,196				
	B.執行済額		64,218				
	うち交付金充当額		51,374				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		98.5%				
予算の状況の説明		不用額が978千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	残波岬サッカー場管理棟の建設	目標	(建設工事)	()	()	()	
		実績	建設工事の完了				
	サッカーゴール等の購入	目標	(7組)	()	()	()	
		実績	7組				
達成状況説明	残波岬サッカー場管理棟を建設したが、3月末の完成であったため、運用できなかったが、サッカーゴール等の備品に関しては、各種大会にて活用され、利用者の利便性の向上が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値
	残波岬サッカー場管理棟の建設完了	目標	()	(建設工事)		()	()
		実績		建設工事の完了			
	サッカーゴール等の備品の購入	目標	()	(7組)		()	()
		実績		7組			
	進捗状況説明	残波岬サッカー場管理棟の建設や備品を購入したことにより、利用者の利便性の向上が図られたとともに、今後のスポーツコンベンションの誘致に対する対応力が増した。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	平成25年度は、管理棟が3月末に完成したため、運用はできなかったが、スポーツコンベンション誘致に対する対応力が増した。	今後は、平成24年度に整備された「残波岬サッカー場」と共に、関係団体と効果的な活用方法を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>本事業は、平成25年度の単年度事業である。今後は、関係団体と調整しながら、本施設を広く周知し、「リーグ等のキャンプ誘致活動を行うとともに、キャンプ及び各種大会が開催できるよう、施設の維持管理に努める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
			支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は指名競争入札を行い、最低落札提示事業者へ発注したので妥当だと考える。また、費目・用途については、事業の目的に鑑み必要な経費のみに支出を行うとともに、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
			予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
			費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- 読谷村地域振興センター（仮称）基本実施設計等支援委託業務		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)ウ		
	担当部課名	建設経済部 跡地利用推進課		事業実施（予定）年度	平成25～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 -1-(1)
事業内容	今まで読谷村を素通りしていた観光客を本村の観光施設群へ誘導するため、地域や関係する団体等と連携し、情報発信による観光振興を推進して行くための複合施設「読谷村地域振興センター（仮称）」を建設するための、基本実施設計を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	74,319				
		(b)予算現額	37,238				
		(c)増減額(b-a)	37,081				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	37,238				
	B.執行済額		37,132				
	うち交付金充当額		29,706				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		99.7%				
予算の状況の説明		施設の用途等の再検討を行ったところ、施設規模の縮小を図ることとなったため、設計にかかる費用が減となった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	読谷村地域振興センター（仮称）建設に係る基本実施設計の実施	目標	基本実施設計実施				
		実績	基本実施設計実施				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	基本設計及び実施設計等をすべて実施することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
	読谷村地域振興センター（仮称）建設に係る基本実施設計の実施	目標	()	基本実施設計実施			()
		実績		基本実施設計実施			
	〔参考指標〕		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	読谷村地域振興センター（仮称）建設に係る基本実施設計を実施し、設計報告書、透視図、模型を作成した。 同施設を平成26年度に建設する予定である。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 資材単価や、人件費の高騰により、建築に係る費用額の見直しが生じている。 開発行為に伴う、緑地の確保が課題である。 ランニングコストは指定管理先(民間)が全てまかなう事になる為、ランニングコストと使用料の試算が大事である。 	<ul style="list-style-type: none"> 建築工法や部材の見直しを検討する。 駐車スペースを工夫し、緑化する。 入居予定団体との協議を重ね、利用料の設定を検討する。
今後の取り組み方針		
<p>建築工法及び駐車スペースについて検討を重ね、平成26年度に施設整備を図る。また、利用料の設定についての協議をする。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	37,132	37,132	29,706	7,426	
<pre> graph LR A[読谷村 37,132千円] --> B[嘱託職員報酬 2,482千円] A --> C[委託料 34,650千円] B --> D[建設技術嘱託職員 1名 2,482千円] C --> E[株式会社ワールド設計 34,650千円] D --- F[読谷村地域振興センター(仮称) 建設技術嘱託職員採用] E --- G[読谷村地域振興センター(仮称) 基本実施 設計等支援委託業務] </pre>					

資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考える。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

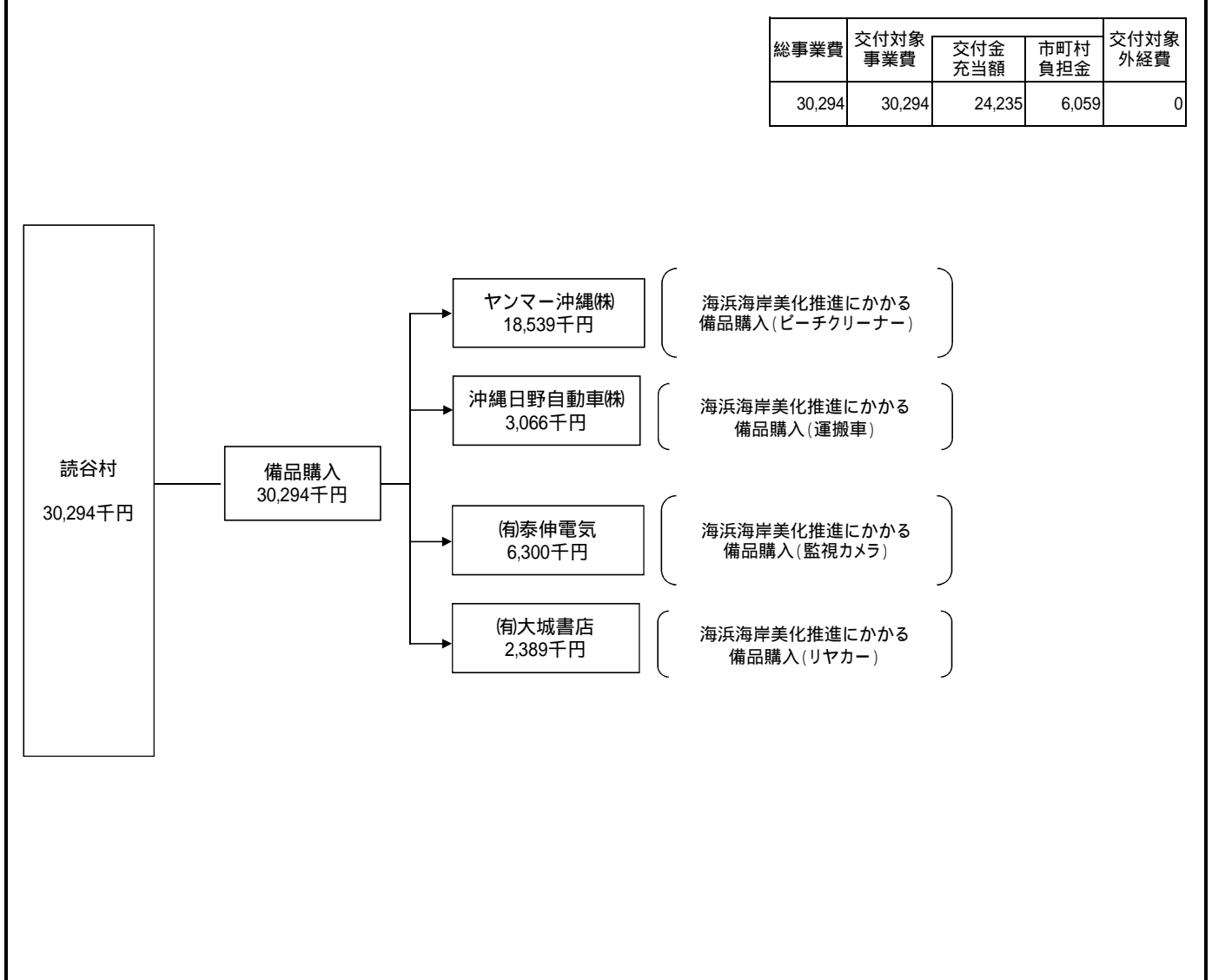
市町村名		読谷村										
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	1 - 海浜海岸等環境美化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (2) - ウ							
	担当部課名		事業実施(予定)年度		沖縄振興基本方針該当箇所							
生活福祉部 健康環境課		平成25年度		世界水準の観光リゾート地の形成								
事業内容		読谷村の貴重な観光資源である海浜海岸の環境美化を推進するためビーチクリーナーを購入し、村営ビーチ等に配置する。さらに海浜海岸における清掃活動の中心的役割を担っている清掃ボランティア活動に対する支援のため、ゴミ運搬車やリヤカーを購入し活用する。また、不法投棄を抑止するため、移動式監視カメラを購入する。										
実施方法		直接実施 委託 補助 負担 その他()										
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況	25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		
		(a)当初予算額	34,285									
		(b)予算現額	34,285									
		(c)増減額(b-a)	0									
		(d)繰越額	0									
		A.計(b+d)	34,285									
		B.執行済額	30,294									
		うち交付金充当額	24,235									
		次年度繰越額	0									
		執行率(%) (B/A)	88.4%									
予算の状況の説明		不用額が3,991千円発生しているが、備品購入費の入札残によるものが主であり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。										
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況									
			25年度		26年度		27年度		28年度			
	ビーチクリーナー・運搬車・リヤカー・監視カメラの購入	目標	(購入予定)	()	()	()	()	()	()	()		
		実績	購入完了									
		目標	(-)	()	()	()	()	()	()	()		
実績		-										
達成状況説明	ビーチクリーナー、運搬車、リヤカー、監視カメラを購入した。											
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(25年度)		25年度		26年度		27年度		目標値(年度)	
	ビーチクリーナー(3台)・運搬車(1台)・リヤカー(20台)・監視カメラ(6台)の購入	目標	(-)	(購入)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		実績		購入完了								
		目標	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		実績										
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーチクリーナー3台、運搬車1台、リヤカー20台を購入した。 ・不法投棄が多発していた箇所に移動式監視カメラ6台を購入し設置した。 ・ビーチクリーナー等の活用により、本村の重要な観光資源である海浜海岸の美化が推進され、利用者への満足度が向上する。 ・監視カメラの設置により、海浜海岸付近の防風林帯への不法投棄が抑制がされる。 											

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・購入手続きに時間を要した為、購入が年度末となった。結果、購入した備品を年度内に活用することが出来なかった。 ・貸出予定のボランティア団体などへ備品活用の周知が必要である。 ・監視カメラの使用において、個人情報の徹底管理が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H26年度においては、できるだけ早い時期に備品貸出要綱を制定し、円滑な備品活用を図り、もって海浜海岸の美化につなげる。 ・村HPやFacebook等を活用し、周知活動に取り組む。 ・撮影データの管理の在り方について設置要綱等に明記し、それに基づいて適正な管理を行う。

今後の取り組み方針

- ・「読谷村海浜海岸等環境美化推進事業備品貸し出し要綱」を制定する。
- ・村営ビーチ等を中心にビーチクリーナーを配置し、海浜海岸等の美化促進を図るとともに、ボランティア等への貸出についてHPやFacebookを活用し周知する。
- ・「読谷村不法投棄防止監視カメラ設置等に関する要綱」を制定する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 用途の流れ、 点検項目、 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	備品購入は、指名競争入札方式により決定した。県内実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村
------	-----

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1 - 危険生物駆除事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ
			世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	生活福祉部 健康環境課	事業実施(予定)年度	平成25～33年度
			- 1 - (1)

事業内容

本県において危険生物として駆除の対象となっているハブの咬傷被害は、毎年のように発生している。村民はもとより本村を訪れる観光客が被害にあう危険性は排除できず、その対策は観光振興にも大きな意味を持つ。来村する観光客や行楽客をハブ咬傷の被害から守るため、観光施設等の付近でハブが生息していると思われる箇所にハブ罠を設置し、ハブを駆除することにより安全な観光地を目指す。

実施方法

直接実施 委託 補助 負担 その他()

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	15,358				
	(b)予算現額	15,358				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	0				
	A.計(b+d)	15,358				
	B.執行済額	6,418				
	うち交付金充当額	5,133				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	41.8%				
	予算の状況の説明	不用額が8,940千円発生しているが、主に委託費及び工事費の入札残によるものである。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
		ハブ捕獲器の設置及びエサとなるマウスの飼育小屋の設置	目標 (設置) 実績 設置完了		
	目標 (-) 実績 -				
達成状況説明	・ハブ捕獲器を購入し、設置した。 ・餌となるマウスの飼育小屋を設置した。 ・設置時期は、2～3月とハブの活動が活発な時期ではなかったが、3匹捕獲することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(-年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(29年度)	
			ハブ捕獲器の設置	目標 (-) (400カ所) 実績 400カ所			
			エサとなるマウスの飼育小屋の設置	目標 (-) (設置) 実績 設置完了			
			進捗状況説明	・ハブ捕獲器を400個購入し、設置及び巡回の委託を行い、村内400箇所に設置した。 ・ハブ捕獲の餌となるマウスの飼育小屋を設置した。 ・ハブの活動の活性化に伴って、捕獲数も伸びることが予測される。結果、観光客、住民のハブの咬傷被害を抑えることができる。			

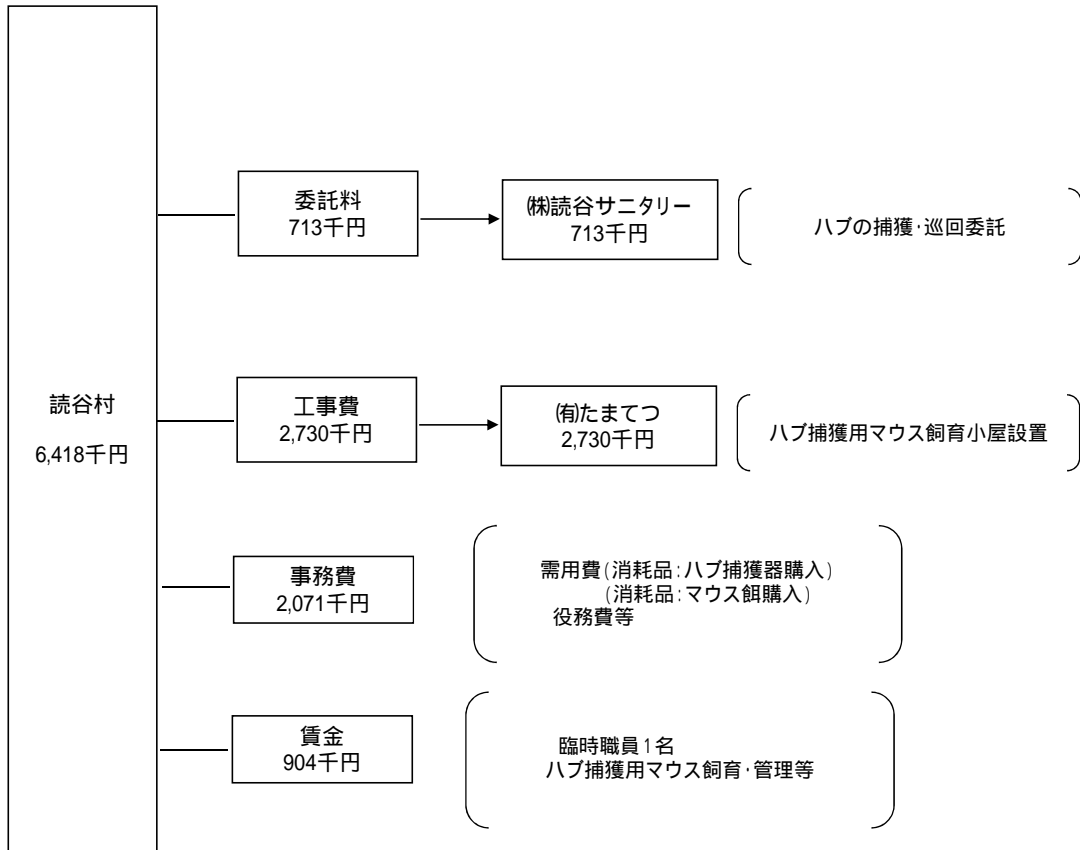
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・発注手続きに時間を要した為、設置及び巡回委託が年明けとなり、十分な捕獲期間を設けることが出来なかった。 ・マウス飼育小屋の設置個所の選定手続きに時間を要した。小屋設置後、必要個体の確保にも時間を要した。 ・ハブ捕獲器設置にあたり、村民等に対し、必要性等周知の徹底が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハブの活動が活発となる4～5月に向け、委託業務を発注し、ハブ等の駆除作業に取り組み観光客等への危険性の除去する。 ・マウスの管理も委託業務に含め、飼育環境個体数の安定確保に努める。事業の概要等を村HP等を活用し、周知を図る。 ・捕獲器の設置について看板等を設置する。

今後の取り組み方針

・4月中に委託業務を発注し、ハブ等の活動が活発になる前に捕獲器を設置することにより危険性の除去に努める。
 ・捕獲器設置箇所に設置を周知する看板を設置する。また、村HPに事業内容等を掲載し、住民並びに観光客等に対し捕獲器設置への理解協力を促すと共に危険事業内容についての周知に努める。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,418	6,418	5,133	1,285	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、指名競争入札方式により決定した。県内実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- ヨミタンJOHO発信事業（読谷観光情報等PRラジオ番組制作・放送事業）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ		
	建設経済部 商工観光課		事業実施（予定）年度	平成25～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成	
担当部課名						-1-(1)	
事業内容	那覇から読谷にかけての本島西海岸一帯で聴取可能なコミュニティFM放送局「FMよみたん」を活用し、主にレンタカーを利用する観光客を、国道58号より西側の本村内に誘導することを目的に、観光情報番組を毎日午前中の移動想定時間帯に制作・放送する。また、周波数を明示した読谷村観光情報紙を空港やレンタカー事業所等に配布し、聴取機会の向上を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,885				
		(b)予算現額	3,885				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	3,885				
	B.執行済額		3,885				
	うち交付金充当額		3,108				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		事業計画どおり執行を行った。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	FM放送番組の制作・放送（毎日）	目標	FM放送番組の制作・放送（毎日）	()	()	()	
		実績	FM放送番組の制作・放送（毎日）				
	チラシ配布	目標	チラシ 30,000枚配布	()	()	()	
		実績	チラシ100,000枚配布				
	情報紙 配布	目標	情報紙 30,000枚配布	()	()	()	
		実績	情報紙100,000枚配布 番組ステッカー4,000枚				
	達成状況説明	事業期間中（平成25年8月1日～平成26年3月31日）は毎日放送を行った。チラシ、情報誌は部数を当初の30,000部から100,000部に増刷し、新たに番組をPRするためのステッカーを4,000部作成した。					
	成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（-年度）	25年度	26年度	27年度
FM放送番組の制作・放送（毎日）		目標	()	FM放送番組の制作・放送（毎日）	()	()	()
		実績		FM放送番組の制作・放送（毎日）			
チラシ配布		目標	()	チラシ配布	()	()	()
		実績		チラシ100,000枚配布			
情報紙配布		目標	()	情報紙配布	()	()	()
		実績		情報紙100,000枚配布 番組ステッカー4,000枚			
進捗状況説明		事業期間中（平成25年8月1日～平成26年3月31日）は毎日放送を行ったことで、多くのレンタカー利用者に読谷村の情報を発信するよう努めた。チラシ、情報誌は部数を100,000部に増刷し、番組をPRするためのステッカーを4,000部作成した。チラシ、情報誌はレンタカー事業所等で配布し、番組の視聴者数増加を図った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○チラシ、情報誌の大部分がレンタカー事業者を通じての配布であったため、広報の範囲が限定的であった。</p> <p>○商工会、観光協会との情報共有について、委託先からフィードバックされた情報の共有が不十分であった。</p>	<p>○委託事業者と協議のうえ、広報の方法を改善し、幅広い方面への広報を行う必要がある。</p> <p>○フィードバックされた情報の共有方法を再検討し、情報の効果的活用を図る。</p>

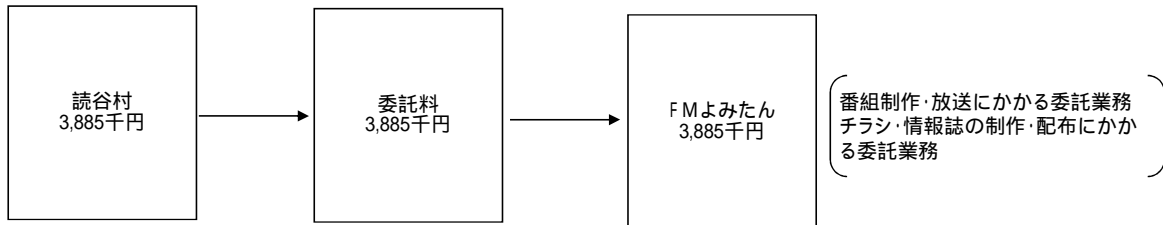
今後の取り組み方針

○レンタカー事業者のほか、空港、ホテル等の宿泊施設、村内外の観光施設等にチラシ・情報誌を設置することで、視聴者・来村者の増加を図る。

○観光協会、商工会との情報共有の方法を改善することで、フィードバックされた情報を効果的に活用する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,885	3,885	3,108	777	



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 流 れ、 費 目 ・ 使 途 の 流 れ、 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○県内コミュニティ放送局3社からの見積徴集により、読谷村でコミュニティFMを運営するFMよみたんを支出先を選定した。</p> <p>○村内事業者を選定した結果、村内の様々な情報を適正なタイミングで発信できたと考える。</p> <p>○費目・使途は事業目的に応じて適正に定められている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

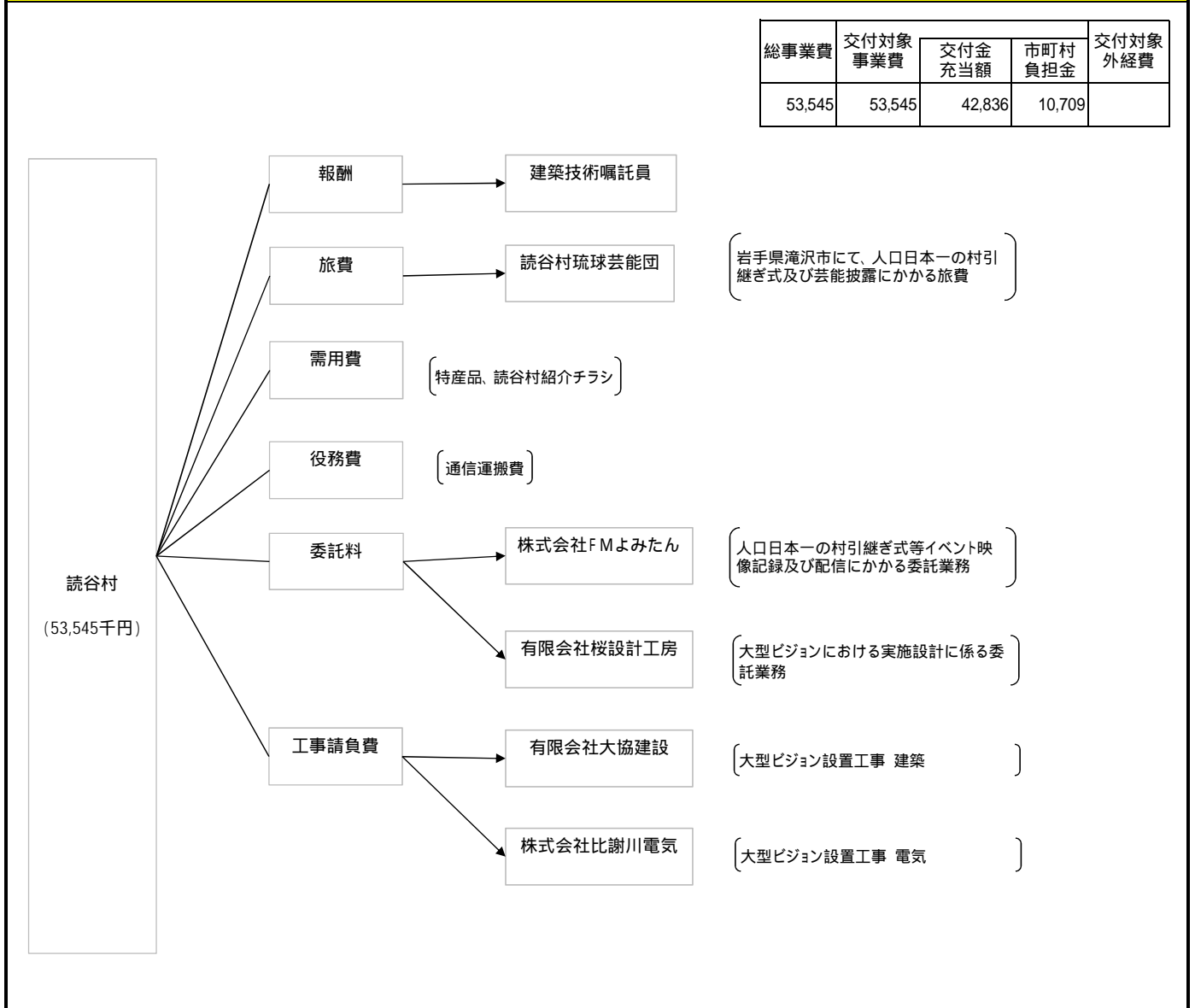
市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 - 人口日本一の村PR事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ		
	総務企画部 企画財政課		事業実施(予定)年度 平成25年度		世界水準の観光リゾート地の形成		
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		-1-(1)		
事業内容	平成26年1月1日に第2位である読谷村が「人口日本一の村」となる。この機会を活かし、県内外に対する本村の知名度の向上と観光客の誘客を図るため、滝沢村において「人口日本一の村」の引き継ぎ式等を開催し、マスメディアをととしてPRするとともに、村内国道58号沿線に情報発信大型ビジョンを設置する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	67,976				
		(b)予算現額	67,976				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	67,976				
	B.執行済額		53,545				
	うち交付金充当額		42,836				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		78.8%				
予算の状況の説明		執行残が14,335千円あるが、概ね工事請負費の入札残によるものである。当初計画していた事業計画はすべて実施したほか、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	岩手県滝沢村において「人口日本一の村」の引き継ぎ式を開催	目標	(引継ぎ式を開催)	()	()	()	
		実績	引継ぎ式を開催				
	村内国道58号沿線に情報発信大型ビジョンを設置	目標	(1台)	()	()	()	
実績		1台設置完了					
達成状況説明	・岩手県滝沢村において「人口日本一の村」の引き継ぎ式及び読谷村琉球芸能団による琉球芸能を披露した ・村内国道58号沿線に情報発信大型ビジョンを設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	岩手県滝沢村において「人口日本一の村」の引き継ぎ式を開催	目標	()	引継ぎ式を開催	()	()	()
		実績		引継ぎ式を開催			
	【参考指標】 村内国道58号沿線に情報発信大型ビジョンを設置	目標	()	(1台)	()	()	()
		実績		1台設置完了			
進捗状況説明	・平成25年12月31日まで、人口日本一の村であった岩手県滝沢村において、平成26年1月1日より人口日本一の村になる本村が芸能団を引き連れて引継ぎ式を行うことで多くの人やマスコミが訪れ、琉球芸能を披露することで読谷村の知名度を向上させることができた。 ・村内国道58号沿線に情報発信大型ビジョンを設置し、情報発信の1つの基盤を構築した。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	年度内において、村内国道58号沿線に情報発信大型ビジョンを設置し、読谷村の観光プロモーション映像などの配信を行ったが、イベント情報を配信できないなどコンテンツの準備が不十分であった。	今後は、設置した情報発信大型ビジョンのイベント情報配信などのコンテンツの充実のほか、効果的な情報の配信方法についての検討が必要である。

今後の取り組み方針

読谷村の地域資源、村内イベント情報、観光情報等のコンテンツを村観光協会等関係団体と連携をとるとともに、大型ビジョンから他媒体へつながるクロスメディア構造を用いて情報配信を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 使途の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・委託相手の選定については随意契約及び指名競争入札を採用したが、業務の性格と内容に照らし妥当であったと考える。また、請負工事の委託業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考える。 ・費目・使途は事業目的に応じて適正に定められていると考える。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

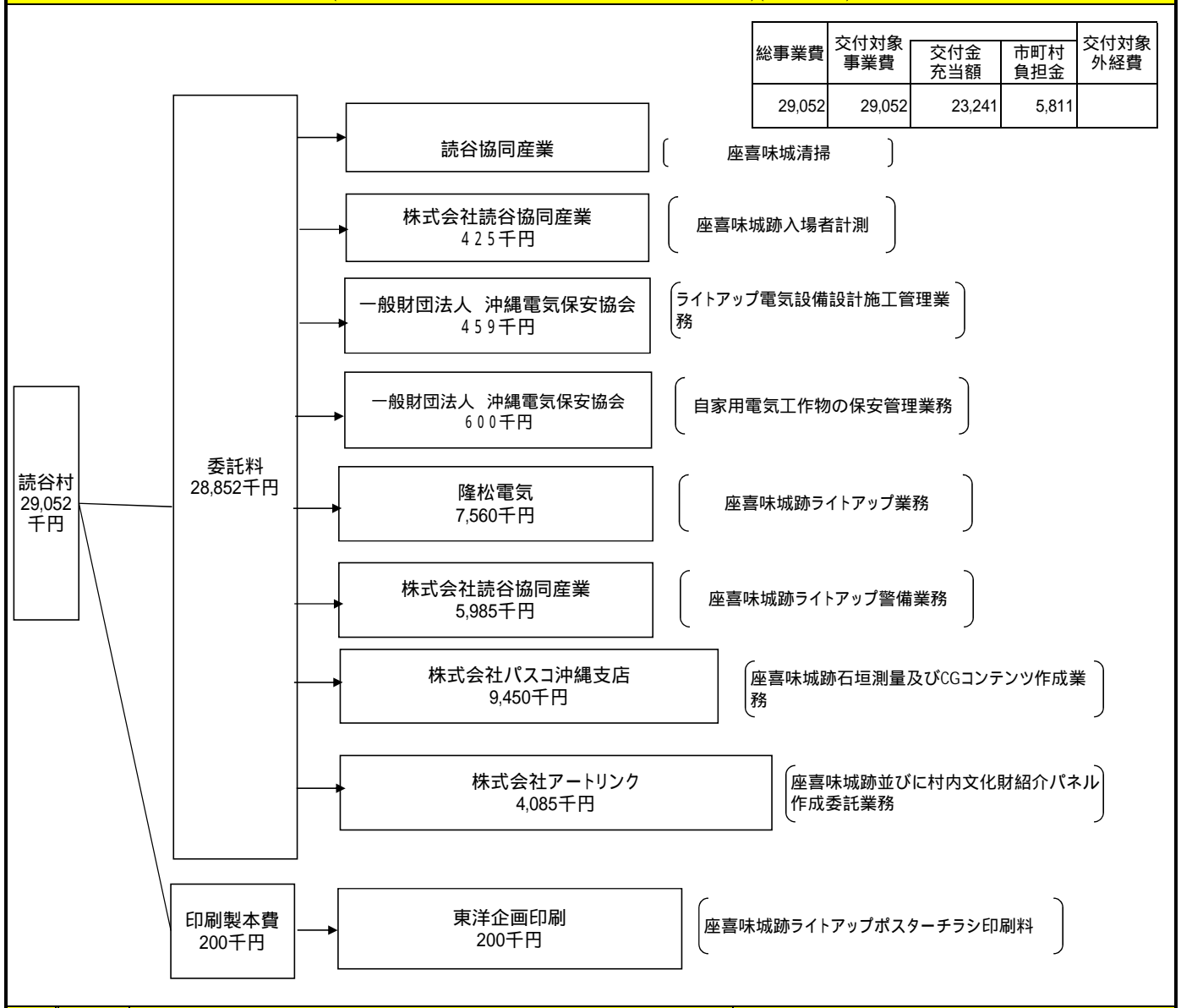
市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 - 世界遺産座喜味城跡管理活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ア		
	文化振興課		事業実施(予定)年度 H25～29		世界水準の観光リゾート地の形成		
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		-1-(1)		
事業内容	読谷村（沖縄県）の歴史文化の代表的シンボルである世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群（座喜味城跡）」の管理活用する事業である。この世界遺産は読谷村（沖縄県）にとって冠としても強力な誘客素材で、この世界遺産の管理を充実させ、これまでにない活用を实践し、誘客を図り、文化振興や地域活性化、観光振興に寄与する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	53,218				
		(b)予算現額	51,792				
		(c)増減額(b-a)	1,426				
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	51,792				
	B.執行済額		29,052				
	うち交付金充当額		23,241				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		56.1%				
予算の状況の説明		ライトアップに関し、当初一括発注を予定していたが、設営と警備に分割発注に変更を行ったことにより当初よりも安価に発注することができたため、不測の増額が生じた他事業へ事業間流用を行い予算の減額となった。 また、当初計画していた事業計画はすべて実施したほか、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	座喜味城跡のライトアップ(設計、保守、設置、警備、告知)	目標	(実施)		()	()	
		実績	実施				
	座喜味城跡の三次元映像コンテンツ作成	目標	(実施)		()	()	
		実績	完成				
	座喜味城跡や関連文化財解説パネルの作成	目標	(作成)		()	()	
実績		完成					
達成状況説明	座喜味城跡の活用のために城壁のライトアップ、座喜味城跡の三次元映像コンテンツ作成、そして座喜味城跡や関連文化財解説パネルを作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	座喜味城跡のライトアップ	目標	()	来場者数16400人 200人/日		()	()
		実績		来場者数8595人 84人/日			
	座喜味城跡の三次元映像コンテンツ作成	目標	()	コンテンツ一式 作成		()	()
		実績		コンテンツ一式 完成			
	座喜味城跡や関連文化財解説パネルの作成	目標	()	パネル17種 8セット		()	()
		実績		パネル17種 8セット 完成			
進捗状況説明	新たな座喜味城跡の活用として、城壁のライトアップ、三次元映像コンテンツの作成、座喜味城跡や関連文化財解説パネルの作成を実施することができた。ライトアップ事業での来場者数の目標を下回った要員としては、他のイベントとの連動が足りなかったことが考えられ、今後は他のイベントとの連携を図ることによって目標を目指す。三次元映像コンテンツは資料館ロビーで展示することによって、荒天時の来場者や足腰の弱くて座喜味城跡に上がれない方々へのフォローや、地域学習への活用も見込める。文化財パネルは、学校や公民館、イベントに積極的に貸し出すことで、村内の学習・観光資産として文化財を活用してもらおう。						

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	座喜味城跡のライトアップ ライトアップを継続的に実施した。来場者数は天候や連携イベントの有無に大きく左右される。 座喜味城跡や関連文化財解説パネルの作成 学校、自治会、公共施設、観光施設の職員へパネルの存在とその使用方法の周知、貸し出しの手順をどう簡略するかが課題である。	座喜味城跡のライトアップ 悪条件でも来場者があることから、ライトアップには大きな魅力があることが確認できた。今後、告知手段を増やし、他イベントとの連携を目指す。 座喜味城跡や関連文化財解説パネルの作成 効果的なパネルの活用を図るため随時学校の教員へ使用方法のレクチャーや活用先の開拓が必要。また、外部企画の文化財講座でも活用できるよう、手続きの工夫が必要である。

今後の取り組み方針

座喜味城跡のライトアップ
 来場者増を目指し、観光業界や村内の団体等と連携するとともに、開催期間及び時期について検討を行う。
座喜味城跡や関連文化財解説パネルの作成
 学校、その他団体への貸し出しを図るため、手続きの簡便化等を検討する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、 検 査 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、指名競争入札方式等により決定した。県内実績を助案した上で選定しており、妥当であったと考える。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- ヨミタンブランドカパワー・アップ大作戦事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ア		
	建設経済部 商工観光課		事業実施(予定)年度	平成25～30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成	
担当部課名						-1-(1)	
事業内容	読谷村や読谷村の産物(=ヨミタンブランド)知名度UPを図ることにより、観光誘客促進と読谷村のブランド力向上の取り組みを展開する。イメージキャラクター等は、そのための重要なツールと位置づけ、今年度は、ヨミタンブランドの基本コンセプトを制定と、そのコンセプトに沿ったイメージキャラクターやロゴ、キャッチコピー等を決定する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,200				
		(b)予算現額	4,200				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	4,200				
	B.執行済額		3,885				
	うち交付金充当額		3,108				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		92.5%				
予算の状況の説明		当初予定していた商標手続を平成26年度に実施することとしたため、不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	ヨミタンブランド基本コンセプト決定	目標	ヨミタンブランド基本コンセプト決定	()	()	()	
		実績	ヨミタンブランド基本コンセプト決定				
	イメージキャラクター、ロゴ、キャッチコピーの決定	目標	イメージキャラクター、ロゴ、キャッチコピーの決定	()	()	()	
実績		イメージキャラクター、ロゴ、キャッチコピーの決定					
達成状況説明	「よみたんブランド」制定に向け、村関係者や有識者等による委員会を組織し、ブランドコンセプト、キャッチコピー、ロゴについて検討・決定を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(-年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	ヨミタンブランド基本コンセプト決定	目標	(-)	ヨミタンブランド基本コンセプト決定		()	()
		実績		ヨミタンブランド基本コンセプト決定			
	イメージキャラクター、ロゴ、キャッチコピーの決定	目標	(-)	イメージキャラクター、ロゴ、キャッチコピーの決定		()	()
		実績		イメージキャラクター、ロゴ、キャッチコピーの決定			
進捗状況説明	観光誘客と本村のブランド力向上に向けた基本コンセプト、キャッチコピー、ロゴマーク等が決定したことにより、本村及び村産品等の統一したイメージをもって県内外に宣伝広告することができるようになった。						

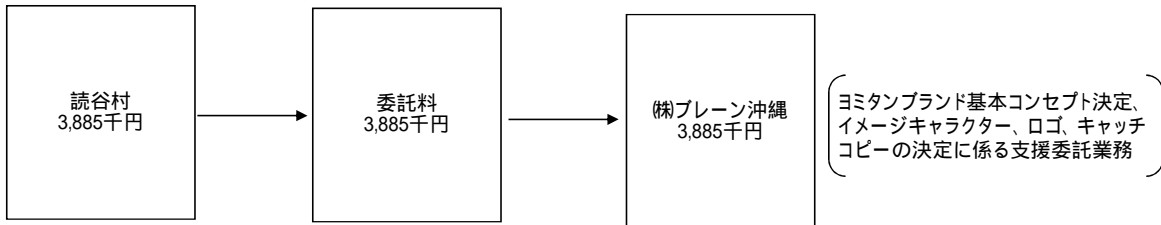
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	事業期間の関係から、今後ブランドとして認定することが予想される商品等を扱っている事業者等の意見を十分に聴取することができなかった。	様々な分野の事業者と意見交換を行うことで、より効果的なブランド戦略が可能になると考えられる。

今後の取り組み方針

平成26年度事業を実施する中でより多くの事業者等との意見交換を行い、ブランド認定された商品・事業者にメリットが生まれるような効果的な支援策(プロモーション等)を検討・実施する。
また、事業期間を平成30年度まで延長し、長期的なブランド戦略を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,885	3,885	3,108	777	



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は公募型プロポーザル方式により実績、業務の手法等を勘案して選定しており、適正であったと考える。 ○費目・用途は事業目的に応じて適正に定められていたと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	残波岬いこいの広場施設整備強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部課名	商工観光課 商工・企業立地推進係	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 -1-(1)	
事業内容	残波岬いこいの広場内で立枯れしている樹木を伐採(除根)し、施設内の見晴らしを良くするとともに緑のフリースペースを創造し、景観を向上させるとともに利用者の安全性の確保を目指す。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,935				
		(b)予算現額	4,935				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)		4,935				
	B.執行済額		4,305				
	うち交付金充当額		3,444				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		87.2%				
予算の状況の説明		工事費で入札残のため不要額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	モクマオウ(枯れ木)伐採、除根	目標	(伐採、徐根)		()	()	
		実績	伐採、徐根				
		目標	()		()	()	
		実績					
達成状況説明	残波岬いこいの広場内で立枯れしている樹木を伐採(除根)し、施設内の見晴らしを良くするとともに緑のフリースペースを確保した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	モクマオウ(枯れ木)伐採、除根	目標	()	伐採 徐根400本	()	()	()
		実績		伐採 徐根400本			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	立ち枯れしたモクマオウ等を伐採することにより、景観が良くなるとともに利用者の安全が確保された。					

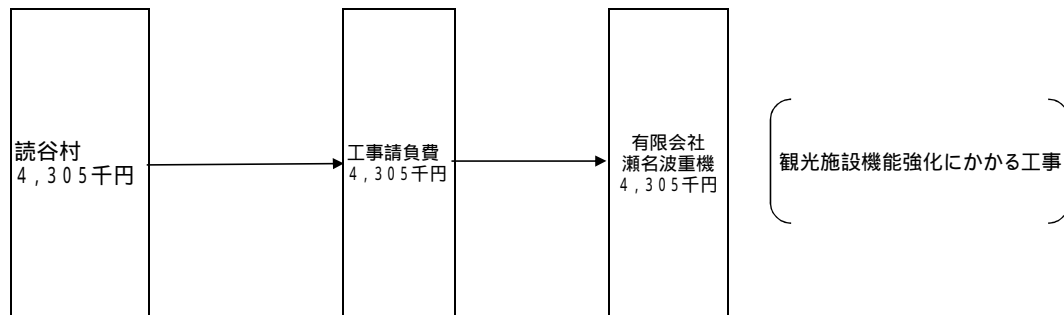
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	同事業は予定どおり実施でき、施設内からの景観をよくするとともに、フリースペースを作るとともに、利用者の安全性の確保することができたが、今後は、雑草等が密生しないように注意を払う必要がある。	来場者が安全に快適に利用できるよう、適正に管理する。

今後の取り組み方針

同施設は指定管理区域内であるため、管理者と協議等を行い、適宜雑草等が密生しないように除草を行うとともに、伐採した土地に芝生やヤシ等を植栽し、緑地化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,305	4,305	3,444	861	



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	工事請負業者は指名競争入札方式により最低価格提示の業者を選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村
------	-----

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2 - 小中学校情報教育支援員配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 -3-(1)

事業内容
 島しょ県であるハンディを克服し、国際性豊かな人材育成と情報教育を活用した学力向上への環境を整えるため、読谷村内小中学校に情報教育支援員を配置し、パソコン教室の環境整備や機器の管理、授業時の教師の支援に努める。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	1,562	4,200			
	(b)予算現額	1,562	4,200			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)	1,562	4,200			
	B.執行済額	1,144	4,159			
	うち交付金充当額	915	3,327			
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	73.2%	99.0%			
予算の状況の説明	当初の計画通り予算を適正に執行できた。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		情報教育支援員配置 小学校	目標 (小学校1名)	(小学校1名)	()	()
	実績	小学校1名	小学校1名			
	情報教育支援員配置 中学校	目標 (中学校1名)	(中学校1名)	()	()	
	実績	中学校1名	中学校1名			
達成状況説明	年間を通し、情報教育支援員を小中学校に配置することで、ICTを活用したきめ細やかな学習指導の充実が図られた。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		情報教育支援員配置数	目標 (0名)	小学校1名 中学校1名	小学校1名 中学校1名	()	()
			実績	小学校1名 中学校1名	小学校1名 中学校1名		
		配置校数	目標 ()	小学校5校 中学校2校	小学校5校 中学校2校	()	()
実績	小学校5校 中学校2校		小学校5校 中学校2校				
進捗状況説明	小中学校においてITCを活用した授業を展開するための情報教育支援員配置を行い、パソコン教室での担当教諭の補佐、ホームページの更新指導等を含め、情報教育による学力向上のための環境づくりを行う事ができた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	情報教育支援員を配置する事により、情報教育についての理解が深まり授業の中で積極的に活用する場面が増えた。 しかし、全小学校5校に対し、情報教育支援員1名の配置は少ないため、増員が今後の課題である。	全小学校5校に対し、情報教育支援員を2～3名配置していく必要がある。

今後の取り組み方針

平成26年度は情報教育支援員を増員し、今年度小学校全教室へ導入済みの電子黒板を利用した授業を展開する事で、全ての児童がより理解しやすい内容の授業を行う事ができると考える。
また、中学校においては、今後ICT環境を整備しユニバーサルデザインを活用した授業を行っていく予定である。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,159	4,159	3,327	832	



資金の流 れ、費目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・読谷村嘱託職員の任用等に関する規則を遵守し採用している。 ・費目・使途は事業目的に応じて適正に定められていたと考 えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 - 日本語教育支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(2)-ア		
	教育委員会 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の享受に向けた環境整備	
担当部課名					-3-(1)		
事業内容	二重国籍や帰国児童等日本語を習得していない児童生徒への支援体制の強化を目的とし、日本語教育支援員を配置する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	2,136	4,219			
		(b)予算現額	2,136	4,219			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	2,136	4,219			
	B.執行済額		2,135	2,898			
	うち交付金充当額		1,708	2,318			
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	68.7%			
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> 計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。 日本語教育支援員途中退職により不用額が生じた。 					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	日本語教育支援員配置数 小学校2名	目標	(2名)	(2名)	()	()	
		実績	2名	2名			
			目標	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明	二重国籍や帰国児童等日本語を習得していない児童に対し、小学校の授業時に通訳や内容説明、他児との交流の仲介等を行い、小学校生活に順応できるように支援を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	日本語教育支援員配置数 小学校2名	目標	(0名)	(2名)	(2名)	()	()
		実績		2名	2名		
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	年間を通し、日本語教育支援員を配置することで、対象児童の日本語の習得及び授業や学校生活への順応が図られた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	日本語教育支援員を配置することにより、担任教諭とのきめ細やかな連携ができ、対象児童への正しい日本語・英語教育を行うことや、保護者とのコミュニケーションはスムーズに行えたが、外国籍の児童が増える昨今、日本語教育支援員の増員が今後の課題であるが、教諭免許を保持した者の採用が難しい。	日本語教育支援員を採用する際、現状では教諭免許を保持していないと採用出来ないが、今後、教諭免許にとらわれず、英語による日常会話・日本語指導・授業内容の説明を行える者であるなど責任者が認める者であれば採用するなど、採用条件の緩和も必要である。

今後の取り組み方針

昨今、二重国籍児童や帰国子女、または外国籍のみを保持した児童の編入学が増加している状況であり、学校現場における日本語支援員の必要性が非常に高まっている状況であるため、平成26年度は対象児童への手厚い支援を行うため、各校に1名若しくは、対象児童が多い学校に対しては数名を配置していく予定である。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,898	2,898	2,318	580	



資金の流 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・読谷村嘱託職員の任用等に関する規則を遵守し採用している。 ・費目・使途は事業目的に応じて適正に定められていたと考えている。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	読谷村小学校社会3・4年生副読本作成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア	
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成 -3-(1)	
事業内容	<p>児童一人ひとりが郷土の「読谷村」の様子や産業などに興味を持ち、自主的・主体的に学習する力を育てるため、小学校3年生・小学校4年生用副読本「私たちの読谷村」を作成し配布する。</p> <p>今回、平成23年度より新しい学習指導要録に基づき教科書も改訂されたため、教科書にあった新しい副読本「わたしたちの読谷村」を作成することにより、郷土の現状と歴史について正しい理解を図り、伝統と文化を愛し、尊重する態度を養うとともに郷土に誇りを持つ人材を育てる。</p>						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)	2,201					
		2,201					
		0					
		-					
	B.執行済額		2,100				
	うち交付金充当額		1,680				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		95.4%				
	予算の状況の説明		不要額が発生しているが、副読本印刷製本費の入札残によるものであり、当初計画した事業は全て実施済み。				
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	小学校3年生副読本の作成	目標	(3年生 800冊)	()	()	()	
		実績	3年生 800冊				
	小学校4年生副読本の作成	目標	(4年生 800冊)	()	()	()	
		実績	4年生 800冊				
達成状況説明	当初の予定どおり、3年生副読本800冊・4年生副読本800冊を作成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	小学校3年生副読本を各小学校へ配布	目標	()	(3年生 800冊)	()	()	()
		実績		3年生 800冊			
	小学校4年生副読本を各小学校へ配布	目標	()	(4年生 800冊)	()	()	()
		実績		4年生 800冊			
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の予定どおり、3年生副読本800冊・4年生副読本800冊を作成することができた。 ・副読本を作成することにより、郷土の現状と歴史、伝統文化について正しい理解ができると考えられる。 					

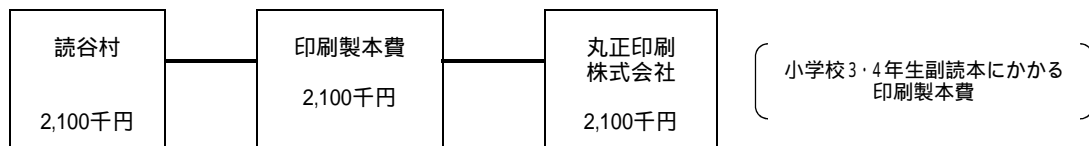
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	村内の小学校3年生・4年生が、住んでいる読谷村について、学ぶことのできる副読本を作成することができたが、もっぱら作成に時間を要し、年度内に活用することができなかった。今後、経年により、掲載された内容を修正するが求められる。	次年度から、副読本を最大限有効利用し、読谷村について更なる興味・関心を持つような授業を進めていく必要がある。また、定期的な改訂等が必要である。

今後の取り組み方針

5年毎に副読本を作成し、小学校3年生・4年生へ配布することにより、次代を担う子供たちが郷土の現状と歴史について正しい理解を図る教科書として活用していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,100	2,100	1,680	420	



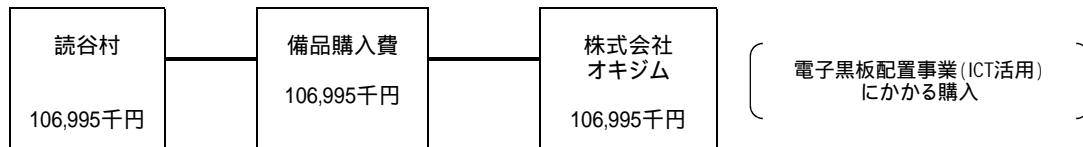
資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・実績等を鑑み業者を選定し、指名競争入札を行っており、選定方法及び予算規模については妥当であると考え。 ・費目・使途は事業目的に応じて適正に定められていたと考えられている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	電子黒板配置事業(ICT活用)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の展開 -3-(1)	
事業内容	ICT活用により、日常の授業にユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが分かりやすい授業を展開する為、村内小学校に電子黒板を配置し、効率的な知識の習得と定着を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	108,174				
		(b)予算現額	108,174				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	108,174				
	B.執行済額		106,995				
	うち交付金充当額		85,596				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		98.9%				
予算の状況の説明		不要額が発生しているが、入札残によるものであり、当初計画した事業は全て実施済み。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	電子黒板整備校数	目標	(5小学校)	()	()	()	
		実績	5小学校				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	村内全小学校5校・全学級へ電子黒板配置を行ない、ICTを活用した授業を展開できるようになった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	小学校の全教室に電子黒板を整備	目標	()	(全教室に整備)	()	()	()
		実績		全教室に整備			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	小学校において、電子黒板を全学級へ配置し、デジタル教科書やデジタルコンテンツを利用することにより、分かりやすい授業を展開し、効率的な知識の習得と定着に役立てられている。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	わかりやすい授業の展開を行えるように、教諭が電子黒板を更に使いこなす必要がある。	教諭が電子黒板や電子教材を活用できるよう、研修等を開催する必要がある。
今後の取り組み方針		
電子黒板で利用できるデジタル教科書や教材を有効活用するため、情報教育支援員を交えての研修会実施や、ICT機器を活用していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
106,995	106,995	85,596	21,399	



資金の流 れ、費目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・実績等を鑑み業者を選定し、指名競争入札を行っており、選定方法及び予算規模については妥当であると考え。 ・費目・使途は事業目的に応じて適正に定められていたと考えられている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	学校施設窓ガラス遮光・遮熱対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (3) - ア		
担当部課名	教育委員会 教育総務課	事業実施(予定)年度	H25～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成 -3-(1)		
事業内容	児童等の学習環境の改善等を図るため、学校の窓にカーテンを設置し、亜熱帯特有の強い日差しから健康被害をもたらす紫外線と、温度上昇をさせる赤外線など、日中の教室の授業を阻害する無益な太陽光を遮断して、快適で健康的な環境を提供する。 古堅中学校 普通教室19室、特別教室7室、合計26室。						
実施方法							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,519				
		(b)予算現額	2,519				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	2,519				
	B.執行済額		2,467				
	うち交付金充当額		1,974				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		97.9%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。また、入札残により不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	カーテンの設置	目標	(26教室分)	()	()	()	
		実績	26教室分				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	これまで日中の教室の授業を阻害する無益な太陽光が差し込んでいた古堅中学校の26教室について、無益な太陽光を遮断することを図るためカーテンを購入し、設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	カーテンの設置(中学校1校)	目標	()	(26教室分)		()	()
		実績		26教室分			
		目標	()	()		()	()
		実績					
	進捗状況説明	快適で、健康的な環境を提供することができた。 良好な学校経営、授業経営を行うことができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本年度予定していた事業内容は円滑に実施することができた。 カーテンは耐用年数が3年と短い、大切に使用することで長期間活用することが可能であるので、児童等へ取り扱いを優しくしてもらうよう指導する。</p>	<p>設置したカーテンをできるだけ長期間活用できるよう処置をとる必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>児童等へ取扱に対する注意喚起を行う。 児童等の学習環境の改善等を図るため、他の小学校及び幼稚園の窓にカーテンを計画的に設置していく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	2,467	2,467	1,974	493	0
<pre> graph LR A[読谷村 2,467千円] --> B[備品購入 2,467千円] B --> C[株式会社ジムキ文明堂 2,467千円] subgraph D [] C end D --- E[カーテンの設置にかかる購入] </pre>					

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>指名競争入札により落札業者と契約を行う。 入札から契約、納品まで適切に行えた。 事業目的に即している。必要なものに限定されている。 予算規模は、適切な規模である。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3- 読谷村道路網計画及び道路整備プログラム策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(13)-イ		
	担当部課名	建設経済部 都市計画課		事業実施(予定)年度	平成24～25年度		
				沖縄振興基本方針該当箇所	- 8		
事業内容	「読谷村道路基本計画」をもとに、計画の実現に向け、道路整備を戦略的に進める「道路整備プログラム」の策定を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,043	6,300			
		(b)予算現額	4,043	6,300			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	4,043	6,300			
	B.執行済額		4,043	5,775			
	うち交付金充当額		3,234	4,620			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	91.7%			
予算の状況の説明		交付決定を受け速やかに事業を執行した。525千円は入札による執行残。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	「道路整備プログラム」の策定	目標	読谷村道路基本計画の策定	道路整備プログラムの策定	()	()	
		実績	読谷村道路基本計画の策定	道路整備プログラムの策定			
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	「読谷村道路基本計画」をもとに、計画の実現に向け、道路整備を戦略的に進める「道路整備プログラム」の策定を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	「道路整備プログラム」の策定	目標	()	読谷村道路基本計画の策定	道路整備プログラムの策定	()	()
		実績		読谷村道路基本計画の策定	道路整備プログラムの策定		
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	「読谷村道路基本計画」をもとに「道路整備プログラム」を策定したことで、整備の優先度の高い路線が明らかになり、道路整備を戦略的に進めることができるようになった。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>平成24年度に策定した「読谷村道路基本計画」をもとに、「道路整備プログラム」を策定し、優先的に整備を進める路線選定を行うことができた。 しかし、「道路整備プログラム」では路線選定を行ったため、今後は「道路整備プログラム」で定めた通りに路線を整備していくように、課題等の精査を行っていく必要がある。</p>	<p>「道路整備プログラム」をもとに道路整備を進めていけるよう、課題等の精査を行い、関係機関との連携を強化していく必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後は、「道路整備プログラム」をもとに道路整備を進めていけるよう、課題等の精査を行い、関係機関との連携を強化していき、戦略的な道路整備を行っていく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	5,775	5,775	4,620	1,155	
<pre> graph LR A[読谷村 5,775千円] --> B[委託料 5,775千円] B --> C[株式会社中央建設コンサルタント 5,775千円] subgraph D [第三次読谷村道路整備プログラム 策定委託業務] C end </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>・受託事業者は指名入札方式により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ・予算規模についても複数業者に見積もりを依頼し定めたものであり、適正な規模となっている。 ・費目・使途についても、道路整備プログラム策定に係る費用に限定されている。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	楚辺通信所跡地地区計画策定調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ	
担当部課名	建設経済部 跡地利用推進課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の計画的な整備 -8	
事業内容	平成24年度作成の楚辺通信所跡地地区計画策定調査業務報告書に基づき、地区計画提案を行い、跡地利用の具体化を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,539	4,761			
		(b)予算現額	6,426	4,761			
		(c)増減額(b-a)	887	0			
		(d)繰越額	-	0			
	A.計(b+d)		6,426	4,761			
	B.執行済額		6,426	4,620			
	うち交付金充当額		5,140	3,696			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	97.0%			
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。 (プロポーザル方式による予算執行残が発生した)					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	楚辺通信所跡地の地区計画を都市計画決定するため、地主会の都市計画提案の支援	目標	提案書作成支援	()	()	()	
		実績	提案書作成支援				
				()	()		
達成状況説明	地区計画原案を作成し、それに基づき、地権者合意活動を展開し、90%以上の同意を得る事が出来た。そしてその同意を元に、地主会から都市計画の提案書が提出された。今回の事業の目的である都市計画提案の支援が出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	楚辺通信所跡地の地区計画を都市計画決定するための提案書の作成	目標	()	提案書作成	()	()	()
		実績		提案書作成			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	地主会と協議を重ね、地区計画の都市計画提案書を作成した。さらに、都市計画の提案には、地主2/3の同意が必要な為、同意作業をし、90%以上の同意を取り付けた。その後、地主会から読谷村に対し提案書が提出された。現在、読谷村にて提案書の精査中である。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道が未整備であり、本地区のほとんどが琉球石灰岩であり河川が未発達である。 ・河川放流が困難な為、道路雨水排水は沈砂池処理となる。 ・公園面積の確保に苦慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シムクガマを排水の流末として検討する。 ・シムクガマを公園として整備出来ないか検討する。
今後の取り組み方針		
<p>地区計画の都市計画決定に向けた更なる支援を行うと同時に、環境基礎調査、予備設計、実施設計、道路整備、排水流末の検討、シムクガマの公園整備の検討を実施していく予定である。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	4,620	4,620	3,696	924	
<pre> graph LR A[読谷村 4,620千円] --> B[委託料 4,620千円] B --> C[株式会社 地域計画研究所 4,620千円] subgraph D [楚辺通信所跡地地区計画策定調査事業] B C end </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3- 読谷飛行場跡地村民センター地区都市計画決定支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(13)-イ		
	建設経済部 跡地利用推進課		事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の計画的な整備	
担当部課名						-8	
事業内容	平成24年度に作成した、第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画に基づき、公園用地としての都市計画決定に向けた支援業務を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	7,089	5,547			
		(b)予算現額	6,773	5,547			
		(c)増減額(b-a)	316	0			
		(d)繰越額	-	0			
	A.計(b+d)		6,773	5,547			
	B.執行済額		6,773	5,250			
	うち交付金充当額		5,418	4,200			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	94.6%			
予算の状況の説明		計画どおり執行することができた。297千円は入札による執行残。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	読谷補助飛行場跡地村民センター地区の公園用地としての都市計画決定に向けた計画策定委託業務の実施	目標	委託業務の実施	()	()	()	
		実績	委託業務の完了				
				()	()		
達成状況説明		現況整理、都市公園の課題、センター地区の検討、都市公園見直しの提案として報告書が作成された。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	読谷補助飛行場跡地村民センター地区の公園用地としての都市計画を検討するための報告書の作成	目標	()	基本計画の作成	報告書作成	()	()
		実績		基本計画の作成	報告書作成		
			目標	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明		現況整理、都市公園の課題、センター地区の検討、都市公園見直しの提案として報告書が作成された。今後この報告書を基に、この地区や読谷村全体の都市公園整備を関係各部署や沖縄県と検討をしていく。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・読谷村の1人あたり都市公園面積が、高水準であり、さらに2ヶ所の都市公園整備が計画されていることから、新たな都市公園の指定が難しくなっている。 ・読谷村の1人あたり都市公園面積が、高水準である理由が2ヶ所の大規模な総合公園による。しかし、住民に身近な住区基幹公園レベルでは、1人当たり公園面積は必ずしも高いとは言えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ所の大規模総合公園を歴史公園や風致公園などの現状機能に対応した公園種別の見直しを検討する。 ・都市公園面積が高水準となっている等、今後の都市公園に係る課題解決への取り組みを検討する。
今後の取り組み方針		
<p>公園種別の変更を検討しつつ、村全体の公園計画との整合性や、スポーツコンベンションを見据えた運動施設整備の計画等を所管するセクションなどとの調整を行い、有機的な跡地利用を検討する。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	5,250	5,250	4,200	1,050	
<pre> graph LR A[読谷村 5,250千円] --> B[委託料 5,250千円] B --> C[株式会社 地域計画研究所 5,250千円] C --- D[読谷飛行場跡地村民センター地区都市計画 決定支援事業] </pre>					

資金の流 れ、費目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村
------	-----

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-	楚辺通信所跡地予備設計等支援委託事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ
担当部課名	建設経済部 跡地利用推進課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖繩振興基本方針該当箇所
				駐留軍用地跡地の計画的な整備
				-8

事業内容
平成24年度作成の楚辺通信所跡地地区計画策定調査業務報告書に基づき、地区計画の実現に向け予備設計等支援業務を実施する。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	5,539	67,704			
	(b)予算現額	6,426	58,359			
	(c)増減額(b-a)	887	9,345			
	(d)繰越額	-	0			
	A.計(b+d)	6,426	58,359			
	B.執行済額	6,426	50,505			
	うち交付金充当額	5,140	40,404			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	86.5%			
予算の状況の説明	地主会との協議により当初計画から路線長を変更したことに伴い、9,345千円(c)の減額が生じた。また、入札により執行残が生じた。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度
		楚辺通信所跡地道路予備設計の実施	目標 (予備設計実施)	()	()	()
	実績	提案書作成支援				
達成状況説明	楚辺通信所跡地道路整備の予備設計を実施し、報告書及び成果簿を作成した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
		楚辺通信所跡地道路予備設計の実施	目標 ()	予備設計実施	()	()
		実績	予備設計実施			
	【参考指標】	目標 ()	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	楚辺通信所跡地道路整備の予備設計を実施し、報告書及び成果簿を作成した。今後この報告書及び成果簿を基に、実施設計を実施する。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・道路用地を地主から無償提供してもらうため、地主との合意形成や、雨水排水の流末確保に課題がある。 ・天然の鍾乳洞であるシムクガマは、平和学習の場でもあり、波平区の流末ともなっており、楚辺通信所跡地利用において緑地保全となっているため、その保全方法が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地主会との情報交換や説明会、丁寧な交渉作業を行う必要がある。 ・シムクガマの保全活用を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>地主会から提案された都市計画提案を基に、地区計画の都市計画決定を行う。また、地区内道路や排水の整備、シムクガマの保全検討、公園・緑地の整備検討を行っていく。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	50,505	50,505	40,404	10,101	
<pre> graph LR A[読谷村 50,505千円] --> B[委託料 43,470千円] A --> C[委託料 7,035千円] B --> D[株式会社芝岩エンジニアリング 43,470千円] C --> E[株式会社大洋土木コンサルタント 7,035千円] D --- F(楚辺通信所跡地予備設計等支援委託事業) E --- G(楚辺通信所跡地(道路改良)積算技術・地権者合意形成支援業務) </pre>					
資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明		
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。		
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3- 読谷補助飛行場跡地地区広場(基本計画)策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(13)-イ		
	建設経済部 跡地利用推進課		事業実施(予定)年度 平成25年度		駐留軍用地跡地の計画的な整備		
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		-8		
事業内容	平成16年度に策定された「読谷補助飛行場跡地利用実施計画」に基づき、地区広場の基本計画策定に向けた調査及び報告書を作成する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,852				
		(b)予算現額	2,852				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	2,852				
	B.執行済額		2,625				
	うち交付金充当額		2,100				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		92.0%				
予算の状況の説明		計画どおり執行することができた。 227千円は入札による執行残。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	27年度	
	読谷補助飛行場跡地地区広場の基本計画を策定する。	目標	基本計画報告書作成	()	()	()	
		実績	基本計画報告書作成				
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明		読谷補助飛行場跡地地区広場基本計画を策定に向けた調査報告書を作成した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	読谷補助飛行場跡地地区広場の基本計画を策定する。	目標	()	基本計画報告書作成	()	()	()
		実績		基本計画報告書作成			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明		読谷補助飛行場跡地地区広場基本計画を策定に向けた調査報告書作成した。今後この報告書を基に、実施設計、整備工事を実施する。				

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」実施設計等支援委託業務			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ	
	担当部課名		建設経済部 跡地利用推進課	事業実施（予定）年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の計画的な整備 -8
事業内容	平成24年度に実施した読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」予備設計等支援委託業務に基づき、地区計画の実施に向け実施設計等支援業務を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	25,761	28,644			
		(b)予算現額	14,169	26,985			
		(c)増減額(b-a)	11,592	1,659			
		(d)繰越額	-	0			
		A.計(b+d)	14,169	26,985			
	B.執行済額		14,168	23,625			
	うち交付金充当額		11,334	18,900			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（%）(B/A)		100.0%	87.5%			
予算の状況の説明		地主会との協議に不足の時間を要したことにより、事業着手時期を変更する必要が生じたため、事業費の減を行った。執行残は入札によるもの。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」実施設計の実施	目標	(実施設計実施)	()	()	()	
		実績	実施設計実施				
				()	()		
達成状況説明	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」実施設計を実施し、報告書及び成果簿を作成した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」予備・実施設計の実施	目標	()	実施設計実施	()	()	()
		実績		実施設計実施			
	〔参考指標〕		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	平成24年度に予備設計を実施し、平成25年度に実施設計を実施した。今後は換地作業等を進める。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 道路用地を地主から無償提供してもらうため、地主との合意形成が重要。 北側にある窪地の雨水排水の流末確保が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> 地主会との情報交換や説明会、丁寧な交渉作業が必要。 西側にある座喜味川まで埋設管にて誘導する。
今後の取り組み方針		
地主会と情報共有を密に行うとともに、提供道路部分の用地交渉や換地作業等をすすめていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	23,625	23,625	18,900	4,725	
<pre> graph LR A[読谷村 23,625千円] -- 委託料 16,800千円 --> B[株式会社 大洋土木コンサルタント 16,800千円] A -- 委託料 6,825千円 --> C[株式会社芝岩エンジニアリング 6,825千円] B --- D["読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」 実施設計等支援委託業務"] C --- E["読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」 (道路改良)積算技術・地権者合意形成支援 業務"] </pre>					

資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名入札方式で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-	嘉手納弾薬庫地区一部返還跡地(国道東南部地区及び周辺)に係る土地利用計画検討委託業務			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-イ	
	担当部課名	建設経済部 都市計画課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	-8	
事業内容	<p>国道東南部地区及び周辺は、読谷村における駐留軍用地返還跡地であり、土地利用未計画区域となっている。当該地区を「仮称：長田川自然・歴史・文化のサンクチュアリ拠点地区」として整備する為、当該地区内に存在する複数の文化遺跡や豊かな自然環境の保全を含めた地域資源を調査するとともに、隣接する土地区画整理区域内の公園緑地と連続させ、観光振興も視野にいれた跡地利用の検討を行う。</p>						
実施方法	<p>直接実施 委託 補助 負担 その他 ()</p>						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	9,324				
		(b)予算現額	9,324				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)		9,324				
	B.執行済額		8,400				
	うち交付金充当額		6,720				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		90.1%				
予算の状況の説明		不要額が発生しているが、入札残によるものであり、当初計画した事業は全て実施済み。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	土地利用計画の策定	目標	(調査・計画作成)	()	()	()	
		実績	調査・計画作成				
	構想模型の作成	目標	(模型の作成)	()	()	()	
		実績	模型の作成				
達成状況説明	<p>・検討対象地の現況把握や、比謝川・長田川流域遺跡群ネットワーク検討をし、国道東南部地区土地利用計画案の検討を行った。 ・事業は計画通りに実施された。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	土地利用計画の策定	目標	()	調査・計画作成	()	()	()
		実績		調査・計画作成			
	構想模型の作成	目標	()	(模型の作成)	()	()	()
		実績		模型の作成			
	進捗状況説明	<p>・地域資源の調査を行い、土地利用の検討を行った結果、対象地の土地利用計画案の方向性が明確となった。</p>					

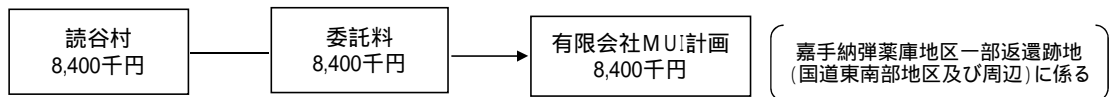
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	自然河川区域やアガリヌウガン遺跡区域は、未だ土地利用が定まっておらず今後の土地利用計画の立案が待たれている。また、長田川取水ポンプ場から上流に位置するこの地区は、良好な水資源確保をする上でも、永続的な水辺環境保全が課題である。	今後とも、繰り返し関係機関と協議を重ねていき、早めの土地利用計画の立案が必要となる。

今後の取り組み方針

今事業は、跡地で進行しているまちづくりや公園緑地との連続によって豊かな自然河川と遺跡地区の保全活用が約12haのまとまりのある地区として実現が可能となる。また、発掘で確認されたアガリヌウガン遺跡は、比謝川・長田川流域に分布する遺跡群の一つとして沖縄でも類例のない重要な価値を保持しており、歴史や文化の拠点の一つとして沖縄観光の振興に寄与する地区として展開できる。
 今後とも、繰り返し関係機関と協議を重ねていき、早めの土地利用計画の立案を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,400	8,400	6,720	1,680	



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	受託事業者は指名競争入札により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 -		コンサフィールドミュージアム構築事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
	担当部課名	教育委員会 文化振興課		事業実施(予定)年度	H24～H28		沖縄振興基本方針該当箇所
事業内容	読谷村の自然・歴史・文化資源等に関する情報を共有・発信・活用できるように再整理し、村民の文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てる。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,881	6,003			
		(b)予算現額	4,321	6,003			
		(c)増減額(b-a)	560	0			
		(d)繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		4,321	6,003			
	B.執行済額		4,188	5,449			
	うち交付金充当額		3,350	4,359			
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		96.9%	90.8%			
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め業務を遂行した。不用額は入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	文化財ガイドマップ設置箇所数	目標	(3箇所)	(3箇所)	()	()	
		実績	3箇所	3箇所			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	公共の場に文化財ガイドマップ(長浜地区、瀬名波地区、宇座地区)を設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	文化財ガイドマップ設置箇所数	目標	(0箇所)	(3箇所)	(3箇所)	()	()
		実績		3箇所	3箇所		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	公共の場に文化財ガイドマップ(長浜地区、瀬名波地区、宇座地区)を設置したことによって、地元の方はもちろん、観光客に文化財情報を提供しやすい環境となった。					

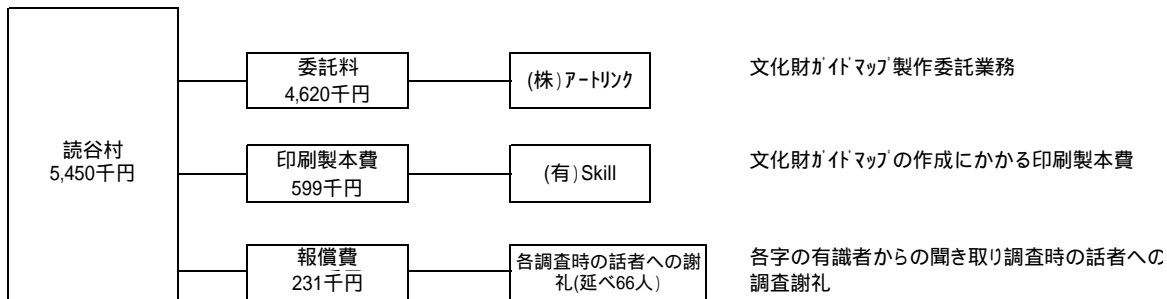
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>歴史文化資源を活かした人材育成や地域活性化を持続的に推進するためには、本事業の文化財ガイドマップの製作で完了ではなく、製作したマップを活用した事業(例:地域散策会、地域散策ガイド育成講座)の展開が必要である。</p> <p>そして、多くの方々が読谷村全域をフィールドミュージアムとして情報を共有・認識できる仕組みづくりが必要である。</p>	<p>文化財ガイドマップ(総合案内板)の製作設置だけで終わるのではなく製作物の活用も広げていく。</p>

今後の取り組み方針

製作設置した文化財ガイドマップを地域の子ども会、青年会、婦人会、老人会等が地域の歴史文化を知る資料として活用し、地域散策会等が持続的に開催できるように人材育成を図り、地域や行政そして観光業者と連携し地域活性化や観光振興につながる企画に取り組んでもらう。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

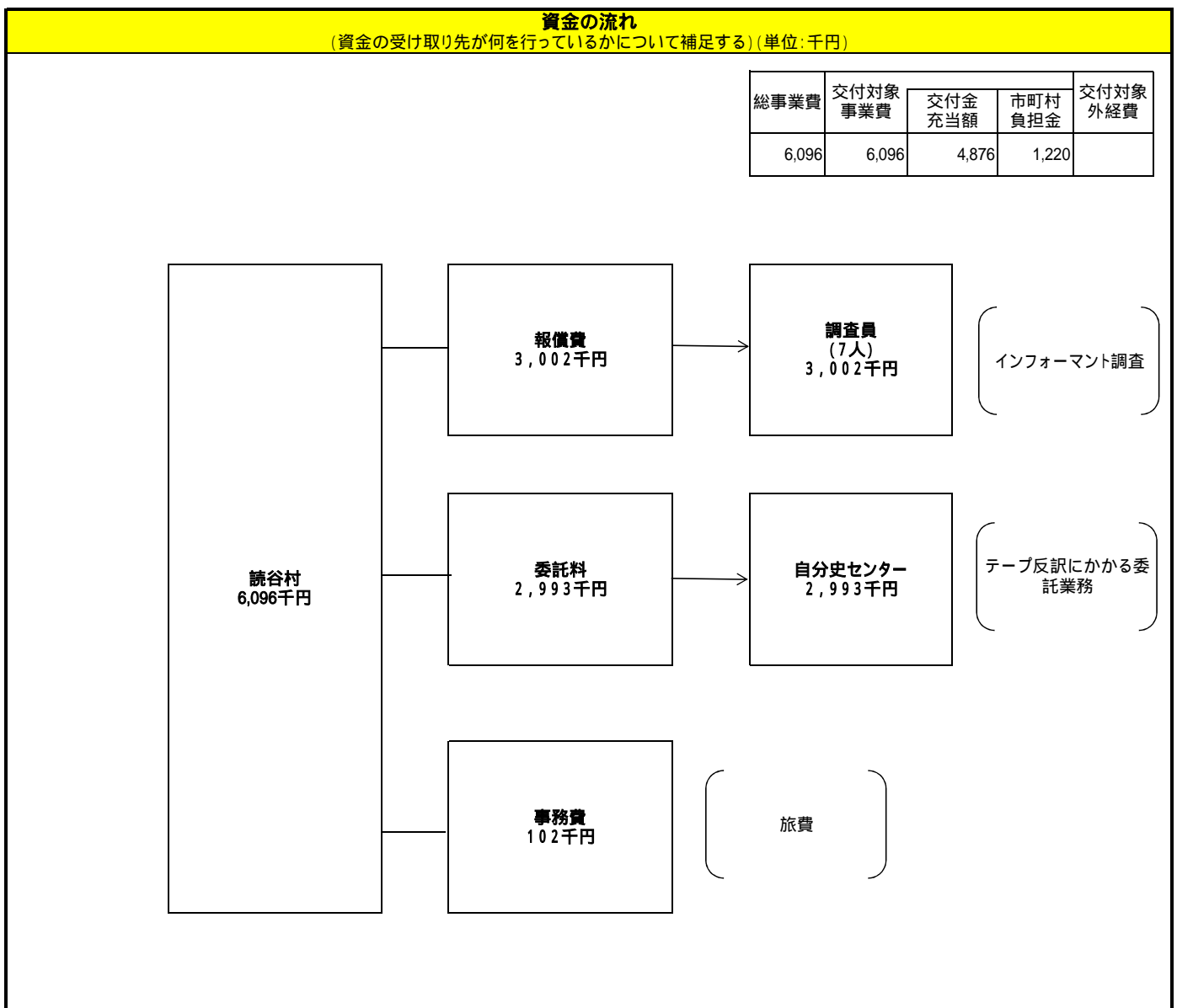
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,450	5,450	4,359	1,091	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札を行い最低価格提示事業者へ決定し発注したので妥当と考えている。予算規模は委託業務において入札残が生じたが委託仕様のとおり業務を遂行でき適正規模である。文化財ガイドマップ製作のためにはいずれの費目・使途も必要である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 -	読谷村移民・出稼ぎ調査編集事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (4) - ア	
担当部課名	文化振興課 村史編集室	事業実施(予定)年度	平成24～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全継承及び新たな文化の創造 - 3 - (2)	
国内外へ読谷村をアピールし、海外からの観光客の誘客や国際交流を図るため、移民・出稼ぎについて調査・整理を行う。							
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	540	6,325			
		(b)予算現額	540	6,325			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	0			
		A.計(b+d)	540	6,325			
	B.執行済額		540	6,096			
	うち交付金充当額		432	4,876			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		100.0%	96.4%			
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	読谷村移民・出稼ぎ調査の実施(ヒヤリング・テープ反訳整理)	目標	(調査実施)	(調査実施)	()	()	
		実績	調査実施	調査実施			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
平成28年度までには350～400人ほどの被調査者(インフォーマント)に対して調査見込みを持つが、今回は50人(継続中含む)の調査を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	被調査者の調査・原稿の整理	目標	()	(調査・整理)	調査・整理	()	()
		実績		調査・整理	調査・整理		
	記録テープ数の反訳	目標	()	(-)	(100本)	()	()
		実績		-	100本		
	進捗状況説明	平成28年度までには350～400人ほどの被調査者(インフォーマント)に対して調査見込みを持つが、今回は50人(継続中含む)の調査を実施した。テープ反訳を業者委託し100本の成果があがった。					

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 調査について高齢化や体調不良等で被調査者(インフォーマント)に面会できない場合が生じている。 調査を進めるなかで、新たなインフォーマントが多数見つかった。 	<ul style="list-style-type: none"> インフォーマントの体調等を考慮するなど、きめ細やかな調査体制の構築が必要である。 新たなインフォーマントを調査するため、調査期間の延長等が必要である。
	今後の取り組み方針	
<p>調査期間の延長を行うとともに、調査員の増員や調査現地から調査員を採用するほか、インフォーマントに近い方の協力を仰ぐなど、きめ細やかな調査を行えるよう調査体制の強化を行う。</p>		



資金の流 用途の流 点検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を 助案した上で選定しており、妥当だったと考えている。 報償、旅費については事業目的達成の観点から必要なも のなかの等について額の確定時において支出等に関する書 類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	読谷村
------	-----

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4- くるちの杜整備事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-工 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
担当部課名	教育委員会 生涯学習課	事業実施 (予定)年度	平成25年度 沖縄振興基本方針 該当箇所
			-3-(2)

事業内容
三線の始祖と言われる「アカインコ」ゆかりの地である読谷村では、沖縄の三線やその音色がいつまでも継承されるよう「くるちの杜」構想を推進し、くるちの植樹等を実施してきた。持続的な植樹の継承と沖縄文化の発信、観光の振興を推進するため、未整備であった「くるちの杜」の遊歩道を整備し、来場者や植樹作業の利便性の向上を図る。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	(a)当初予算額	14,511				
	(b)予算現額	8,205				
	(c)増減額(b-a)	6,306				
	(d)繰越額					
	A.計(b+d)	8,205				
	B.執行済額	7,890				
	うち交付金充当額	6,312				
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	96.2%				
	予算の状況の説明	当初予定から路線長に変更が生じたため、事業計画の変更により予算の減額を行った。また、入札により執行残が生じた。				

活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
遊歩道整備	目標	(L=200m)	()	()	()
	実績	L=227m			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	整備工事を実施し、遊歩道を計画どおり整備した。また、既設の遊歩道に取り付けするために現場実測を行ったところ整備延長距離が伸びた。				

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
		目標	()	(L=200m)	()	()
	実績		L=227m			
	目標	()	()	()	()	()
進捗状況説明	実績					
	平成25年10月12日の植樹祭には村民及び村内から多くの方が遊歩道を利用し植樹祭会場に集合した。事業完了後は、草刈りや加肥等作業の効率が増したほか、多くの村民や観光客がくるちの杜を散策するようになった。					

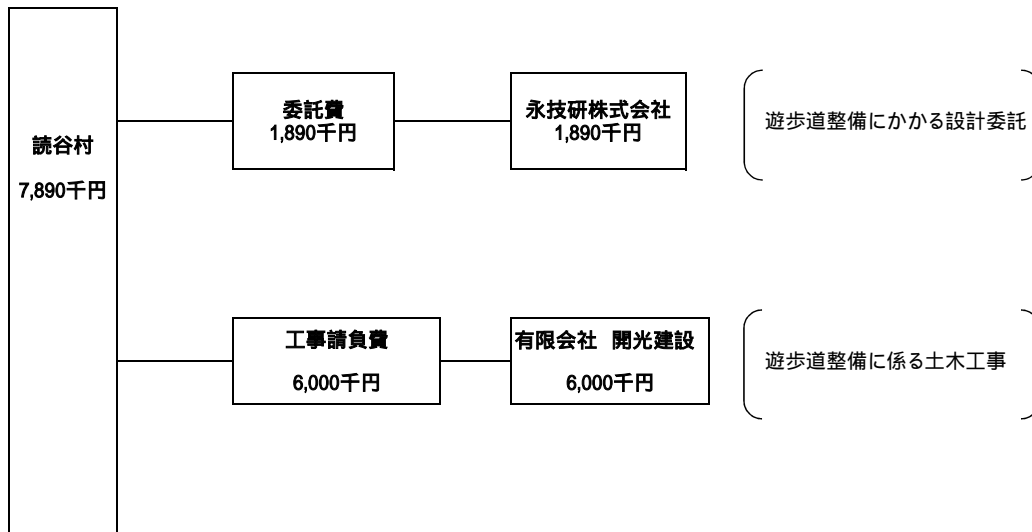
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	遊歩道整備については、問題なく完了したがイベント時における参加者から、当該地が分りにくい旨の指摘を受けた。	当該場所に隣接する駐車場は2ヶ所あるが、うち1ヶ所が文化遺跡をまたぐ場所にあるため、初めて訪れる方には分りにくいと思われる。

今後の取り組み方針

今後とも多くの方に来場して頂き、散策やくち(黒木)への関心向上を図るため駐車場からの案内板等の設置を検討しなければならない。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,890	7,890	6,312	1,578	



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札で選定してあり契約に関して妥当である。額面については、見積もりや書面等から妥当と考える。費目・使途は、事業の目的達成のため必要と考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村
------	-----

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-	文化センター機能強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ
担当部課名	教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				伝統芸能の保全・継承及び新たな文化の創造
				-3-(2)

事業内容
 伝統文化の保全・継承また、新たな文化の創造を目指し、伝統芸能の拠点である読谷村文化センターにおいて、高度で効果的な演出を行うために、舞台照明機器のマスターフェーダーの本数の増加や音響設備をデジタルミキシングコンソールに変更することでアナログからデジタルに変更するなど機能強化に努める。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	55,670				
	(b)予算現額	55,670				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額					
	A.計(b+d)	55,670				
	B.執行済額	53,550				
	うち交付金充当額	42,840				
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	96.2%				
	予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。また、入札残により不用額が生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
照明設備・音響設備のデジタル化	目標	デジタル化の計画	()	()	()
	実績	デジタル化の完了			
	目標	強化工事の計画	()	()	()
	実績	強化工事の完了			
達成状況説明	鳳ホール舞台は、供用開始から15年目で痛みが激しく反響板の出し入れするレール部分が沈下しているところもあり、その周辺を集中的に強化した。照明施設・音響施設はアナログからデジタル化にすることにより利用者の要求に応えることが出来た。				

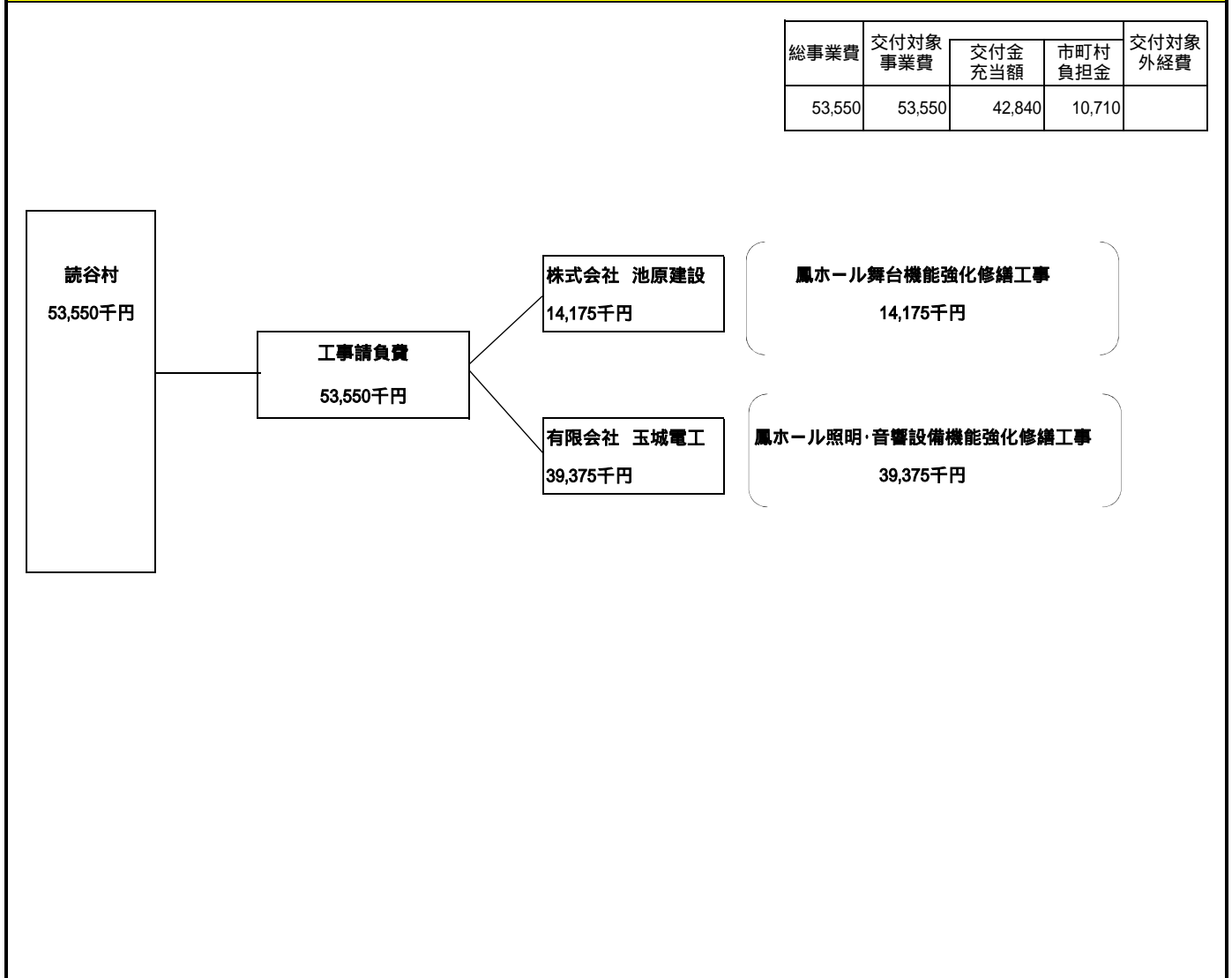
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
			照明設備・音響設備のデジタル化	デジタル化の計画		()
	実績	デジタル化の完了				
	舞台の強化工事	() (強化工事)		()	()	
進捗状況説明	機能強化することにより、伝統文化の保全・継承に寄与することが出来る。また、強化事業の後には「みなみこうせつ」「森山良子」など芸能人がコンサートを開催し、県外から多くの観客来場することにより読谷村の観光アピールを図ることができた。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	当初計画した内容は問題なく完了することが出来たが、工事等が年度末となった為、強化した施設を活用する期間が短かった。	強化した施設の活用機会の創出するため、積極的なイベント誘致を図る必要がある。

今後の取り組み方針

平成26年度九州地区民俗芸能祭大会(沖縄県開催)において読谷村文化センターが会場として決定した。九州各地の芸能団が本村に訪れる予定である。今後モイベント誘致に取り組むとともに、県内外からの誘客を図るため、村観光協会等と連携を取りながら読谷村をアピールする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	○受託業者は指名競争入札を行い、最低落札提示事業者へ発注したので妥当だと考える。また、費目・用途については、事業の目的に鑑み必要な経費のみに支出を行うとともに、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

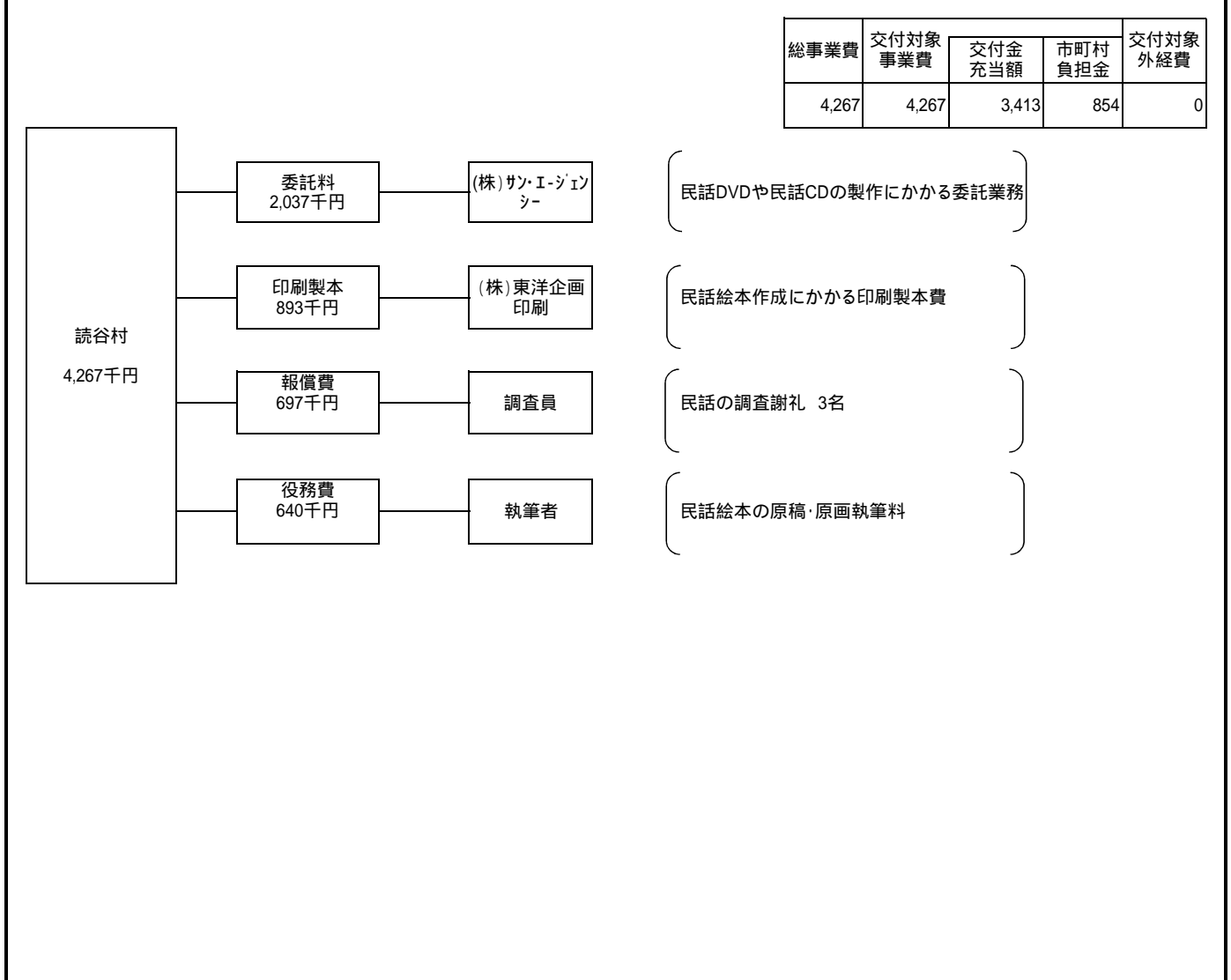
市町村名	読谷村						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-	沖縄語(しまくとぅば)保存継承事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施(予定)年度	H25~H29		沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 - 3 - (2)	
事業内容	沖縄語で伝承されたきた民話を調査・整理し、沖縄語に親しめる教材(民話絵本や民話紙芝居DVD等)を製作し、製作物を村内小中学校や保育園、幼稚園へ配布する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	7,576				
		(b)予算現額	7,576				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	7,576				
	B.執行済額		4,267				
	うち交付金充当額		3,413				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		56.3%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め業務を遂行した。不用額は入札残によるもの。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	絵本「読谷の民話(5話)」の発刊	目標	(発刊)	()	()	()	
		実績	発刊				
	DVD「読谷の民話(5話)」の発刊	目標	(発刊)	()	()	()	
		実績	発刊				
達成状況説明	沖縄語(しまくとぅば)を保存継承するための教材(民話絵本・民話紙芝居DVD)が製作できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	村内小中学校等への配布	目標	()	(270部)	()	()	()
		実績		300部			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	沖縄語(しまくとぅば)民話絵本・民話紙芝居DVDを活用し、学校等で沖縄語に気軽に親しむことが可能となった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	平成25年度に予定していた事業は滞りなく完了することができ、世代とともに継承が難しくなっている沖縄語について継続して保存継承することが求められている。	本村には伝承されてきた民話がまだまだ沢山あり、今後も多様な民話絵本や紙芝居DVDを製作することでより沖縄語(しまくとぅば)の保存継承に繋がる。

今後の取り組み方針

各地区ごとにある沖縄語(しまくとぅば)の民話の教材を計画的に製作し、親子が日常的に沖縄語(しまくとぅば)保存継承に親しめるよう、関係機関や学校等へ周知を図っている。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は指名競争入札を行い、最低価格提示事業者へ決定し発注したので妥当と考えている。予算規模も計画どおりの絵本、民話DVD等が製作でき適性である。計画の沖縄語保存継承用教材(絵本、DVD)製作のためにいずれの費目・使途とも必要である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

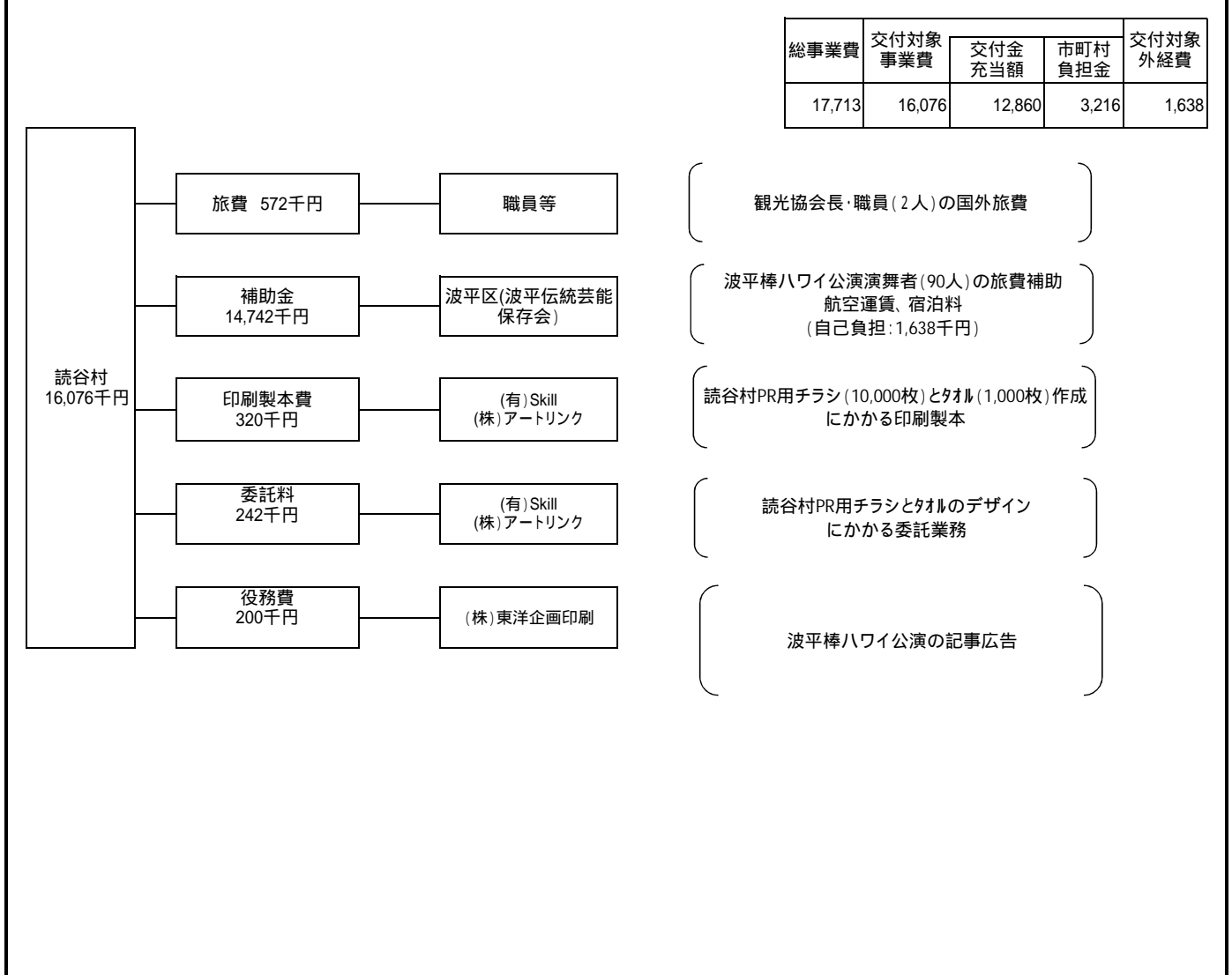
市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 -	波平棒ハワイ公演事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 文化振興課	事業実施(予定)年度	H25	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造		
事業内容	読谷村の伝統芸能文化の魅力を発信するためにハワイ沖縄フェスティバルに出演する波平区(波平棒:波平伝統芸能保存会)に補助を行うとともに、読谷村観光協会長もハワイへ赴き州知事等の主要人と面談し読谷村の伝統文化を紹介する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	18,389				
		(b)予算現額	18,389				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	18,389				
	B.執行済額		16,076				
	うち交付金充当額		12,860				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		87.4%				
予算の状況の説明		補助金(補助対象費の航空賃と宿泊費)が当初見積もりより安価となり不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	波平棒のハワイ公演への派遣(90人)	目標	(90人)	()	()	()	
		実績	90人				
	ハワイ州知事等の主要人との面談、PR用チラシ(10,000枚)とPR用タオル(1,000枚)の配付	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
達成状況説明	波平棒(90名)のハワイ公演への派遣、ハワイ州知事等の主要人との面談、PR用チラシ(10,000枚)とPR用タオル(1,000枚)の配付した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	波平棒演舞回数	目標	()	(3回)	()	()	()
		実績		3回			
	ハワイ州知事等の主要人との面談、PR用チラシ(10,000枚)とPR用タオル(1,000枚)の配付	目標	()	チラシ10,000枚 PR用タオル1,000枚	()	()	()
		実績		チラシ10,000枚 PR用タオル1,000枚			
	進捗状況説明	ハワイ沖縄フェスティバル等で波平棒スーマチを実演するとともに、ハワイ州知事等の主要人と面談した。そして読谷村PR用チラシ(10,000枚)とPR用タオル(1,000枚)をフェスティバル会場にて配付し、多くの人に読谷村の伝統芸能文化を知ってもらうことができた。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	ハワイ公演で演舞した波平棒をはじめ読谷村のその他伝統芸能を機会あるごとに国内外へ紹介し続ける必要がある。	伝統芸能の観覧の場や機会を増やす努力が保存継承にもつながる。

今後の取り組み方針

本事業は単年度事業であるが、波平棒を含め、本村固有の多くの伝統芸能の魅力を広く紹介するため、読谷まつりや伝統芸能祭等で披露する機会を創出を図るほか、芸能団体が継続した活動ができるよう、さまざまな角度から支援を行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目 ・ 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	補助金は「読谷村における沖縄振興特別推進市町村交付金事業補助金交付規則」に従い補助対象経費を航空賃と宿泊費に限定し支出したので適正で妥当と考える。予算規模は90人のハワイ公演に見合ったもので、受益者の旅費負担もあり妥当である。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 - 長寿調査検証事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 2 - (3) - ア		
	担当部課名	生活福祉部 福祉課	事業実施(予定)年度	平成25～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	- 4	
事業内容	<p>地域の高齢者を支えるボランティア(レク、調理、健康チェック担当)27名と役場担当職員3名を、長寿日本一の長野県に派遣し、長寿先進地域における高齢者の生きがいづくり、食生活、健康づくりへの取り組みや病院等を調査することにより、地域コミュニティで行われているミニサービス「ゆいまーる共生事業」の充実を図ると共に、どのようにしたら地域の健康基盤づくりへ活かせるか検証を行う。</p>						
実施方法	<p>直接実施 委託 補助 負担 その他 ()</p>						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,235				
		(b)予算現額	3,235				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	3,235				
	B.執行済額		3,167				
	うち交付金充当額		2,534				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		97.9%				
予算の状況の説明		<p>事業計画どおり、適正に執行が行われた。 なお、不用額が68千円発生したが、入札残によるものである。</p>					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	派遣(ボランティア(レク担当、調理担当、健康チェック担当)と役場職員)	目標	(30名)	()	()	()	
		実績	30名				
		目標	()		()	()	
		実績					
達成状況説明	<p>長寿先進地域における高齢者の生きがいづくり、食生活、健康づくりへの取り組み等を調査するため、調査検証員を対象に事前学習、検証会を行った。また、長野県に30名派遣した。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	調査報告会の実施回数(「ゆいまーる共生事業」を実施しているコミュニティ等)	目標	()	(21回)		()	()
		実績		21回			
		目標	()	()		()	()
		実績					
	進捗状況説明	<p>調査検証で得た情報は今後のゆいまーる事業運営の参考となるよう、ゆいまーる共生事業実施を実施する全コミュニティ等で報告会を実施した。 また、調査検証で学んだ筋力つくつく体操を紹介し、高齢者の介護予防として郷土の曲でアレンジした筋力体操の作成を模索した。</p>					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>これまで地域公民館で続けていたミニデイサービスは、特に健康や介護予防に重点を置くことなく、レクレーションを中心に井戸端会議的な事業を展開していた。</p> <p>調査検証を通して、食育・運動・医療の重要性を認識し、栄養士や理学療法士運動指導士による新たなプログラム作成の必要性を認識したことから、ゆいまーる共生事業の内容見直しを検討する。</p>	<p>食の大切さや運動、医療の重要性を認識し、ボランティアの意識改革に努め、介護予防の視点から更なる向上を目指す。</p>

今後の取り組み方針

ゆいまーる共生事業を充実させるため、定期的に学習会を持ち、健康チェックボランティアのスキルアップを図る。

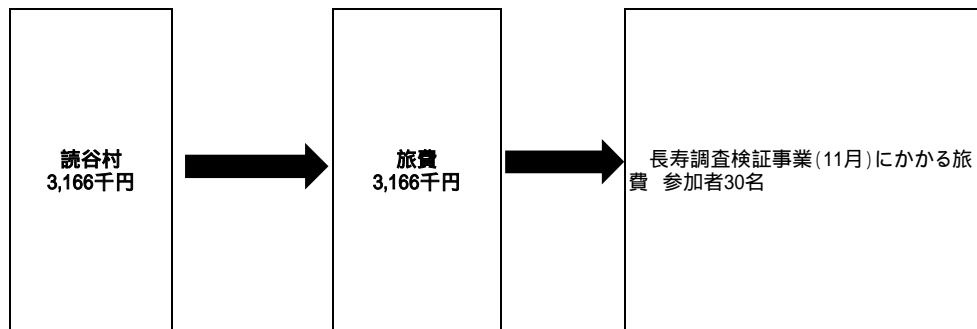
また、調理担当ボランティアの食育意識を高め、家庭の食事改善、家族の健康管理にも役立てる。

ボランティアを含めたゆいまーる共生事業参加者の方々が、愉快地楽しめるレクの継続をめざし、自主的な運動習慣策を図る。

平成26年度は、前回派遣した部門とは違った部門へ各字1～2名派遣し、3部門(食育・運動・医療)を多角的視点から報告会を実施し、長寿調査検証事業の報告書を作成する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,166	3,166	2,533	633	0



資金の流 れ、点 検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>旅費は、入札を行うことで経費削減の効果が出ており、妥当であった。調査検証員はこれまでゆいまーる共生事業を担ってきた経験者で、長寿調査及び検証にあたって適任であったと考えている。</p> <p>長寿調査先の長野県は、早くから減塩運動を行うなど健康づくりに積極的に取り組んできた地域で、その成果は長寿日本一という形で結実していることから、長寿調査検証に最も適していると考えている。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6 -	沖縄関係仮戸籍等電子化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ	
担当部課名	生活福祉部 住民年金課	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 -11-(1)	
事業内容	<p>戦災により沖縄の戸籍は離島の一部を除きすべて滅失するという前代未聞の状況に遭遇した。戦後沖縄戸籍整備法(昭和28年)に基づき再製された沖縄関係戸籍(仮戸籍、福岡戸籍、臨時戸籍)は、当時の戸主等の記憶に頼る申告をもって作られたため不正確な部分があることは否めず、現在でも戸籍訂正事件の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存であるため劣化が激しい。今後も安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る証明書の発行等住民サービスを確保するため、沖縄関係戸籍の電子化を実施する。</p>						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)	(a)当初予算額	28,439				
		(b)予算現額	28,439				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額					
	B.執行済額		25,594				
	うち交付金充当額		20,475				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		90.0%				
	予算の状況の説明		予算額より安く委託契約が行えたので不用額が生じた。 当初計画していた事業内容はすべて実施し、例規に基づいた適正な執行であるとする。				
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	紙戸籍の電子化の実施	目標	(44,000枚)	()	()	()	
		実績	43,706枚				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	紙媒体で保存していた沖縄関係戸籍(仮戸籍、福岡戸籍、臨時戸籍)をすべて電子化し、現行の戸籍システムと連動させることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	沖縄関係戸籍の電子化率:100% 〔参考指標〕	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	紙原本の劣化による情報資産滅失の危険性を回避することができた。 紙媒体を電子化し現行の戸籍システムと連動させることにより、戸籍訂正に係る証明事務の効率化を図ることができた。 紙媒体から電子化することによりセキュリティを確保し、火災や地震等の災害から情報資産を守ることができた。					

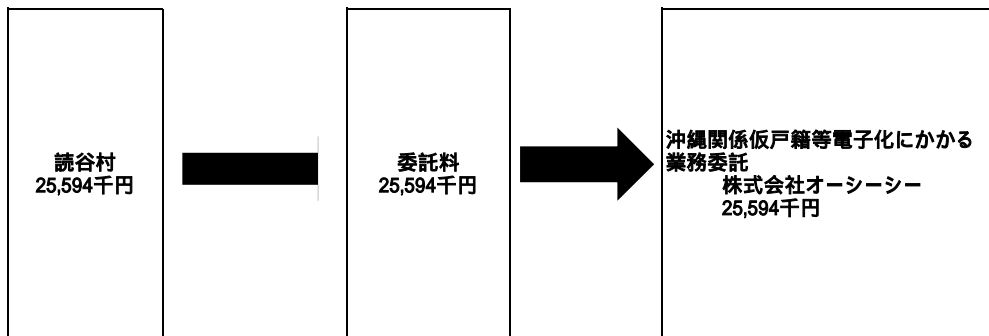
	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>戦災により焼失した戸籍関係の書類が電子化されたことで、今後、証明書として交付できるようになった。また、同事業は予定どおり完了したが、システム運用が年度末近くだったため、利用する職員への周知期間を確保することができなかった。</p>	<p>紙媒体を電子化したことにより、今後の証明書発行業務を正確かつ効率的に行えるよう職員への周知に努めるとともに、今回電子化したデータを適正に管理活用する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

電子化したデータは、今なお発生する戸籍訂正事件の資料として今後も活用されることが見込まれる。「読谷村戸籍情報システムに係るデータ管理規程」に基づき戸籍情報システム内で現行の戸籍システムと一体管理を行うことにより、セキュリティを確保した安全・安定的なシステム運用を行い、証明発行業務を正確かつ効率的に行うことにより村民サービスの向上につなげていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
25,594	25,594	20,475	5,119	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>電子化したデータを現行の戸籍システムと連動させることを要件にしたことにより現行戸籍システムベンダーとの随意契約となった。費用については各自治体の電子化対象の帳簿の枚数や種類が異なることから統一の単価の算出はできない。しかし「1枚」あたりの単価見積の調査を行ったところ本村と同じ戸籍システムを使用している自治体は統一の見積単価であることは確認できたので妥当な金額だと考える。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	読谷村						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7 -	中学生海外ホームステイ派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施（予定）年度	平成25～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 - 5 - (4)	
事業内容	本村の教育目標である「創造性・国際性に富み社会の貢献できる人材の育成と生涯学習の振興」の実現のため、村内の中学生12人を夏休みの1ヶ月間を利用し、英語圏に短期間派遣し、ホームステイを実施することにより、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際性豊かな人材育成を目指す。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他（ ）		
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,400				
		(b)予算現額	2,400				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	2,400				
	B.執行済額		2,400				
	うち交付金充当額		1,920				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	村立中学校生徒をアメリカシアトル州へ短期留学	目標	(12名)	()	()	()	
		実績	12名				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	村内中学生を海外（英語圏）へ派遣し、現地の雄大な自然等を満喫しながら英語圏の文化を学び、国際交流を体験することにより、国際語である英語の習得が図れた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
	帰国報告会	目標	()	(3回)	()	()	()
		実績		3回			
	〔参考指標〕		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	・村内中学生を海外（英語圏）へ派遣し、現地の雄大な自然等を満喫しながら英語圏の文化を学び、国際交流を体験することにより、国際語である英語の習得が図れた。 ・帰国報告会（村長への報告会・在籍中学校生徒への報告会・在籍中学校保護者向けの報告会）を行った。						

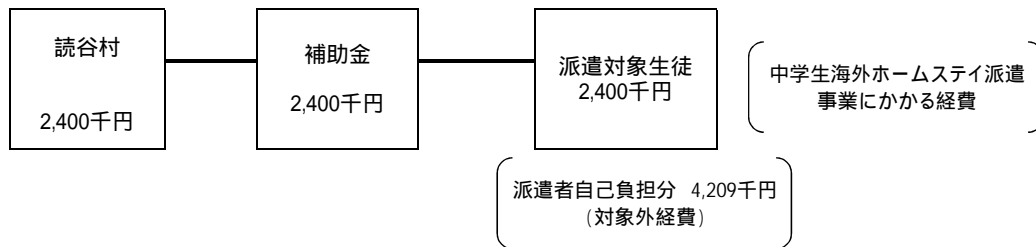
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、事前英会話研修は4回行われているが、現地での実践の予習を兼ねて可能な限り回数を増やしていきたい。 ・円安に伴い派遣に係る費用が上がり、保護者負担が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校単位で、英会話の質の向上を図るため、ALTや英語科の教諭を活用した事前研修も検討する必要がある。 ・保護者負担を軽減するため、派遣補助金の増額を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

- ・ALTや英語科教諭の協力を得ながら、事前研修として英会話のレッスン等、内容を充実させた後、英語圏に短期間派遣しホームステイを実施する。
- ・国際性豊かな人材育成を図るため、今後も中学校(2校)の生徒に対し派遣費の補助を行う。
- ・保護者負担を軽減するため、補助金交付規則を見直し補助額を増額する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,609	2,400	1,920	480	4,209



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・派遣される生徒は学校長からの推薦により決定している。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・補助金交付規則に沿っており、受益者との負担関係は妥当である。
		受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8 - 井泉環境調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当カ所		第3章 - 1 - (2) - ア		
	生活福祉部 健康環境課		事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当カ所	持続可能な循環型社会の構築	
担当部課名						- 10 - (1)	
事業内容	読谷村において点在する井泉(カー)は、上水施設が整備されるまで住民の生活用水として利用され生活基盤を支えるとともに、祭事の場としても利用され続けてきた。このように古くから残された井泉を本村の貴重な財産としてとらえ、文化財や観光資源等として利用するとともに災害時等における水源としての利用に向けた調査を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,530				
		(b) 予算現額	19,530				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	19,530				
	B. 執行済額		18,900				
	うち交付金充当額		15,120				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		96.8%				
予算の状況の説明		不要額が、630千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	泉水(カー)の自然環境や水質等の調査	目標	(調査)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	(-)	()	()	()	
実績		-					
達成状況説明	村内90カ所の井泉の自然環境や水質等調査業務を発注・実施。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(-年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(-年度)
	泉水(カー)の自然環境や水質等の調査: 90カ所	目標	(-)	(90カ所)	(-)	(-)	(-)
		実績	-	93カ所			
		目標	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		実績					
進捗状況説明	・村内90カ所の井泉(カー)に加え、3カ所湧水の調査を実施。 ・報告書100部、教材用リーフレット300部を作成。 ・調査実施にあたり、区長からの聞き取りの結果、3カ所の新たな湧水カ所が判明した。						

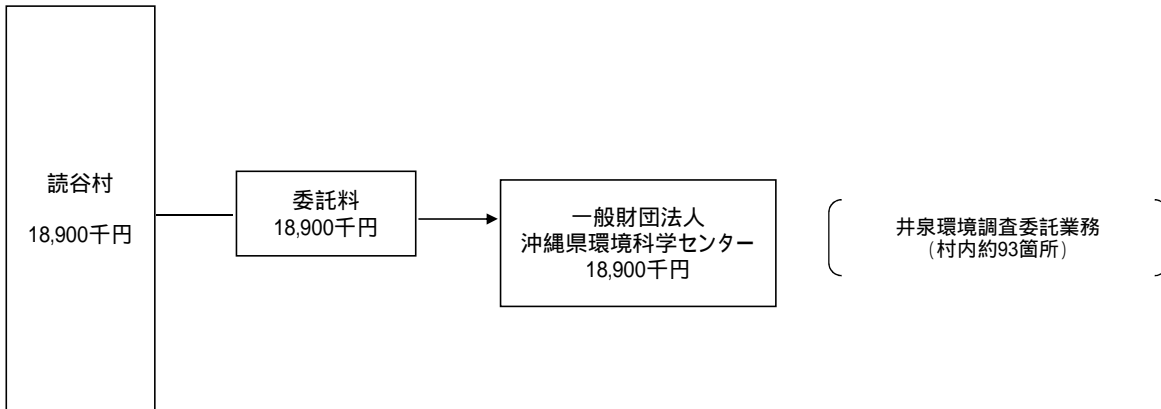
	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・公共工事や民間工事において、井泉が移設や取り壊されるケースがあり、保全利用を図るにはケース毎に文化財としての価値の検証、その後の保全保護の検証が必要である。	・村の文化財担当課(文化振興課)へ、報告書を提供し保全活用の可能性を検討する。

今後の取り組み方針

・文化財担当部局(文化振興課)と連携し、必要であれば井泉の保全のため手続き・手段について検討を行う。
 ・調査した井泉(カー)について、観光資源や非常時における水源としての利用について、関係部署に情報を提供し、検討を行う。
 ・各自治会や小中高校、村立図書館等へ報告書を配布し、村民への井泉の情報を周知する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
18,900	18,900	15,120	3,780	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、指名競争入札方式により決定。 村内実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9 - 地産地消推進を図る生産施設設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 3(7)ア		
	担当部課名	建設経済部 農業推進課		事業実施(予定)年度	平成25～30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 - 1 - 6
事業内容		年間を通して多様な野菜が安定的に生産できる環境が構築されることにより、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や「食と農」を通じた地域観光のイメージアップ及び農業振興が図られることを目的として、JA等が設置する生産施設の設置費の一部を補助する。					
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	19,997				
		(b)予算現額	19,997				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	19,997				
	B.執行済額		18,720				
	うち交付金充当額		14,976				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		93.6%				
予算の状況の説明		事業完了後、実績報告を受け補助金の額を確定し支出した。執行残は、補助事業実施主体(沖縄県農業協同組合)による入札残による。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	野菜の栽培施設設置補助 (総面積:5,600㎡)	目標	(5,600㎡)	()	()	()	
		実績	3,438㎡				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初は、平張ハウスを想定し事業を進めていたが、農家との調整会議により葉茎菜類を栽培するに当たり、雨水の跳ね返りによる劣化を防ぐため、ビニールハウスに変更となった。そのため、単価/㎡が高くなり面積減となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(-年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	野菜の栽培施設設置補助 (総面積:5,600㎡)	目標	()	(5,600㎡)	()	()	()
		実績		3,438㎡			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	当初は、平張ハウスを想定し事業を進めていたが、農家との調整会議によりビニールハウスに変更となった。そのため、ハウス単価(単価/㎡)が高くなり施設面積の減となった。長雨や病害虫等の影響を受けにくい栽培施設を整備することで、安定的に多様な野菜を提供することで地産地消を推進し、「食と農」を通じた農業の発展と地域観光のイメージアップが期待される。					

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9 - 地産地消推進を図るレンタル機械導入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 3(7)ア		
	建設経済部 農業推進課		事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 - 1 - 6	
事業内容	年間を通して多様な野菜が安定的に生産できる環境が構築されることにより、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や「食と農」を通じた地域観光のイメージアップ及び農業振興が図られることを目的として、農業機械及び格納庫の導入費の一部を補助する。導入した農業機械は、小規模農家等に貸し出しを行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	13,162				
		(b)予算現額	13,162				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	13,162				
	B.執行済額		10,000				
	うち交付金充当額		8,000				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		76.0%				
予算の状況の説明		事業完了後、実績報告を受け補助金の額を確定し支出した。執行残は、補助事業実施主体(沖縄県農業協同組合)による入札残による。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	トラクター:1台 堆肥散布機:1台 小型耕運機:2台 管理機:1台 格納庫:57.1㎡	目標	()	()	()	()	
実績		トラクター:1台 小型耕運機:2台 管理機:2台 格納庫:57.12㎡					
達成状況説明	農家の要望により、生産性の向上を図るには利用頻度の少ない堆肥散布機を取り止め、トラクターへの機能集約を行い、さらに利用頻度の高い管理機を1台追加した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(-年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	トラクター:1台 堆肥散布機:1台 小型耕運機:2台 管理機:1台 格納庫:57.1㎡	目標	()	トラクター:1台 堆肥散布機:1台 小型耕運機:2台 管理機:1台 格納庫:57.1㎡	()	()	()
		実績		トラクター:1台 小型耕運機:2台 管理機:2台 格納庫:57.12㎡			
進捗状況説明	沖縄県農業協同組合に補助し、トラクター:1台、小型耕運機:2台、管理機:2台、格納庫:57.12㎡の設置した。小規模農家が農業機械を利用することにより作業効率の向上及び費用負担の軽減を図ることで、安定的に多様な野菜が提供されることで地産地消を推進し、「食と農」を通じた農業の発展と地域観光のイメージアップが期待される。						

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9 - 地産地消推進を図る製品荷姿作業施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 3(7)ア		
	建設経済部 農業推進課		事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 - 1 - 6	
事業内容	年間を通して多様な野菜が安定的に生産できる環境が構築されることにより、地域の消費需要(直売所、ホテル、飲食店など)への対応や「食と農」を通じた地域観光のイメージアップ及び農業振興を図られることを目的として、生産者が農産物直売所や飲食店などで販売するために行う袋詰め等の作業負担を軽減するため製品荷姿作業施設整備費の一部を補助する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	33,920				
		(b)予算現額	33,920				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	33,920				
	B.執行済額		31,008				
	うち交付金充当額		24,806				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		91.4%				
予算の状況の説明		事業完了後、実績報告を受け補助金の額を確定し支出した。執行残は、補助事業実施主体(沖縄県農業協同組合)による入札残による。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	製品荷姿作業施設設置補助 (面積:138.5㎡)	目標	(138.5㎡)	()	()	()	
		実績	138.54㎡				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	沖縄県農業協同組合に補助し、製品荷姿作業施設(面積:138.54㎡)の設置を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(-年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	製品荷姿作業施設設置補助 (面積:138.5㎡)	目標	()	(138.5㎡)	()	()	()
		実績		138.54㎡			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	沖縄県農業協同組合に補助し、製品荷姿作業施設(面積:138.54㎡)の設置を行った。農家の出荷の際の袋詰め等の作業に要する負担軽減を図り、地域の消費需要に対応した多品目な野菜の栽培面積の増加につなげることで、出荷率の向上と、そこで働く作業員の地域雇用が期待される。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	製品荷姿作業施設の導入は、問題なく事業を完了することが出来た。整備した製品荷姿作業施設が広く利活用できるよう、農家の生産力の向上が今後の課題である。	製品荷姿作業施設の導入は、問題なく事業を完了することが出来た。行政及び事業実施主体 (沖縄県農業協同組合) で農家の生産技術指導を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
平成25年度単年度事業である。 今後は、沖縄県農業協同組合と連携して、農家の生産技術の向上を図るとともに、消費需要に対応した多様な農産物の増産を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	40,699	31,008	24,806	6,202	9,691
<pre> graph LR A[読谷村 31,008千円] --> B[補助金 31,008千円] B --> C[沖縄県農業協同組合 31,008千円] C --- D["製品荷姿作業施設設置にかかる経費"] C --- E["沖縄県農業協同組合負担分 9,691千円 (交付対象外経費)"] </pre>					

資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	地産地消を推進するために、農家の育成・指導・農業機械のレンタル・農産物の販売を一貫して支援できる沖縄県農業協同組合を事業主体とし、読谷村地域資源を活かした農業推進実施要項に基づき、予算規模・受益者との負担関係・費目・使途についても、精査し事業を執行した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		読谷村					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10 - 衛星船舶電話購入設置補助事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-ア		
	担当部課名	建設経済部 商工観光課		事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 -1-(6)
事業内容	漁業者が所有する衛星船舶電話は通信方式の変更で平成26年3月末で終了する。その為、高額な衛星電話の購入は燃油等コストの高騰、漁家の低迷等で、漁業者の経済的負担が大きく危惧するところである。漁業者の安全操業を確保する為、漁船への衛星電話の購入設置の補助を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	3,108				
		(b)予算現額	3,108				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	3,108				
	B.執行済額		2,501				
	うち交付金充当額		2,000				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		80.5%				
予算の状況の説明		補助先である読谷村漁業協同組合で入札を行い執行額が確定した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	衛星船舶電話の購入設置を補助	目標	(10隻)	()	()	()	
		実績	10隻				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	読谷村漁業協同組合へ補助を行い、衛星船舶電話の購入設置を行った。(10隻)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	衛星船舶電話の購入設置を補助	目標	()	(10隻)	()	()	()
		実績		10隻			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	読谷村漁業協同組合へ補助を行い、衛星船舶電話の購入設置を行ったことで、非常事態時における連絡手段を確保することができた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	衛星船舶電話の購入設置については、補助先である読谷村漁業協同組合で指名競争入札を行い特に問題もなく事業を完了する事が出来た。 今後は漁業者の安全操業を確保するにも、導入機器の適正な維持管理が課題である。	衛星船舶電話の購入設置については、補助先である読谷村漁業協同組合で指名競争入札を行い特に問題もなく事業を完了する事が出来た。 導入機器が適正に管理活用されるよう、事業実施主体(読谷村漁業協同組合)より設置者に指導が必要となる。
今後の取り組み方針		
本事業は平成25年度の単年度事業である。 今後は、読谷村漁業協同組合と漁業者が連携し、操業時の海上での安全確保を行うとともに、維持管理についても同様に連携し、適切に管理を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	3,126	2,501	2,000	501	625
<pre> graph LR A[読谷村 2,501千円] --> B[補助金 2,501千円] B --> C[読谷村漁業協同組合 2,501千円] B --> D[読谷村漁業協同組合負担 625千円 (交付対象外経費)] C --- E[衛星船舶電話の購入設置にかかる補助 (10隻)] </pre>					

資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	本村唯一の漁業協同組合である読谷村漁業協同組合へ補助を行い衛星船舶電話の購入設置(10隻)が出来た。 補助金の割合については規則に沿って補助し、補助先の読谷村漁業協同組合も指名競争入札を行っており事業は適切だった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	